

# 資料編



(1) 関西国際空港に係る環境監視結果

表2-3-1(1) 二酸化硫黄の測定結果

所在地	測定局	有効測定日数	測定時間	年平均値	1時間値が0.1ppmを超えた時間数とその割合		日平均値が0.04ppmを超えた日数とその割合		1時間値の最高値	日平均値の2%除外値	日平均値が0.04ppmを超えた日が2日以上連続したことの有無	環境基準の長期的評価による日平均値が0.04ppmを超えた日数
		(日)	(時間)		(ppm)	(時間)	(%)	(日)				
泉佐野市	佐野中学校(羽倉崎)	122	2886	0.002	0	0.0	0	0.0	0.023	0.006	○	0
参考値(大阪府所管一般局)												
高石市	高石中学校	328	7857	0.005	0	0.0	0	0.0	0.047	0.010	○	0
岸和田市	岸和田中央公園	359	8536	0.001	0	0.0	0	0.0	0.018	0.005	○	0

(注) 1. 佐野中学校は、平成22年4月1日から平成22年7月31日までのデータを用いた。

表2-3-1(2) 一酸化窒素及び窒素酸化物の測定結果

所在地	測定局	一酸化窒素 (NO)					窒素酸化物 (NO+NO2)					
		有効測定日数	測定時間	年平均値	1時間値の最高値	日平均値の年間98%値	有効測定日数	測定時間	年平均値	1時間値の最高値	日平均値の年間98%値	年平均値NO <sub>2</sub> (NO+NO <sub>2</sub> )
		日	時間	ppm	ppm	ppm	日	時間	ppm	ppm	ppm	%
泉南市	C(りんくう南浜)	122	2870	0.003	0.083	0.011	122	2870	0.014	0.139	0.035	80.5
泉佐野市	大阪府所管佐野中学校(羽倉崎)	362	8583	0.003	0.097	0.014	362	8583	0.015	0.162	0.046	82.0
阪南市	L-2(箱作)	122	2873	0.002	0.070	0.009	122	2873	0.011	0.106	0.027	81.2
参考値(大阪府所管一般局)												
高石市	高石中学校	325	7749	0.003	0.096	0.018	325	7749	0.020	0.147	0.053	84.0
泉大津市	泉大津市役所	359	8588	0.003	0.125	0.018	359	8588	0.019	0.176	0.054	84.5
貝塚市	貝塚市消防署	357	8483	0.002	0.066	0.010	357	8483	0.013	0.104	0.035	84.8
泉南市	泉南市役所	364	8580	0.003	0.096	0.015	364	8580	0.015	0.135	0.042	78.5
和泉市	緑ヶ丘小学校	362	8550	0.001	0.036	0.004	362	8550	0.009	0.073	0.022	87.3
岸和田市	岸和田中央公園	360	8560	0.002	0.096	0.013	360	8560	0.016	0.137	0.043	84.6
阪南市	南海団地	360	8594	0.001	0.038	0.004	360	8594	0.008	0.086	0.024	89.4
参考値(大阪府所管自排局)												
泉佐野市	末広公園	363	8596	0.014	0.191	0.040	363	8596	0.031	0.238	0.073	55.6
岸和田市	天の川下水ポンプ場	354	8470	0.017	0.190	0.040	354	8470	0.039	0.252	0.082	57.7
高石市	カモドールMBS	360	8527	0.014	0.186	0.044	360	8527	0.034	0.235	0.080	59.8

(注) 1. 大阪府所管佐野中学校については、「大阪府地域大気汚染常時監視測定データファイル」を活用し、平成22年4月1日から平成23年3月31日までのデータを用いた。  
2. C局とL-2局は平成22年4月1日から平成22年7月31日までのデータを用いた。

表2-3-1(3) 光化学オキシダントの測定結果

所在地	測定局	昼間	昼間	昼間の1	昼間の1時間値が		昼間の1時間値が		昼間の1	昼間の1
		測定日数	測定時間	時間値の	0.06ppmを超えた日		0.12ppm以上の日数		時間値の	時間値の
		日	時間	年平均値	日	時間	日	時間	最高値	最高1時
				ppm					ppm	間値の年
										間値の年
										間値の年
泉佐野市	大阪府所管佐野中学校(羽倉崎)	364	5371	0.036	98	452	0	0	0.110	0.052
参考値(大阪府所管一般局)										
高石市	高石中学校	327	4827	0.036	94	489	2	2	0.134	0.052
泉大津市	泉大津市役所	365	5383	0.036	120	628	1	2	0.142	0.054
貝塚市	貝塚市消防署	365	5391	0.038	125	680	1	2	0.134	0.055
泉南市	泉南市役所	365	5392	0.036	99	488	0	0	0.117	0.052
和泉市	緑ヶ丘小学校	365	5392	0.040	130	764	3	6	0.138	0.057
岸和田市	岸和田中央公園	365	5406	0.036	114	583	1	3	0.160	0.053
阪南市	南海団地	365	5404	0.041	118	595	0	0	0.110	0.055

(注) 1. 大阪府所管佐野中学校については、「大阪府地域大気汚染常時監視測定データファイル」を活用し、平成22年4月1日から平成23年3月31日までのデータを用いた。

表2-3-1(4) 非メタン炭化水素の測定結果

所在地	測定局	測定時間	年平均値	6~9時 における 年平均値	6~9時 測定日数	6~9時3時間平均値		6~9時3時間平均値が0.20ppmCを超えた日数とその割合		6~9時3時間平均値が0.31ppmCを超えた日数とその割合	
						最高値	最低値	日	%	日	%
		時間	ppmC	ppmC	日	ppmC	ppmC	日	%	日	%
泉佐野市	大阪府所管佐野中学校(羽倉崎)	8501	0.13	0.14	363	0.55	0.04	60	16.5	11	3.0
参考値(大阪府所管一般局)											
貝塚市	貝塚市消防署	8380	0.16	0.18	363	1.02	0.06	102	28.1	20	5.5
岸和田市	岸和田中央公園	8252	0.14	0.16	362	0.52	0.02	88	24.3	23	6.4
参考値(大阪府所管自排局)											
高石市	カモドールMBS	8289	0.21	0.26	363	0.75	0.04	231	63.6	108	29.8

(注) 1. 大阪府所管佐野中学校については、「大阪府地域大気汚染常時監視測定データファイル」を活用し、平成22年4月1日から平成23年3月31日までのデータを用いた。

表2-3-1(5) メタン及び全炭化水素の測定結果

所在地	測定局	メタン						全炭化水素					
		測定時間	年平均値	6~9時 における 年平均値	6~9時 測定日数	6~9時3時間平均値		測定時間	年平均値	6~9時 における 年平均値	6~9時 測定日数	6~9時3時間平均値	
						最高値	最低値					最高値	最低値
		時間	ppmC	ppmC	日	ppmC	ppmC	時間	ppmC	ppmC	日	ppmC	ppmC
泉佐野市	大阪府所管佐野中学校(羽倉崎)	8501	1.88	1.89	363	2.11	1.71	8499	2.00	2.03	363	2.66	1.79
参考値(大阪府所管一般局)													
貝塚市	貝塚市消防署	8380	1.91	1.92	363	2.10	1.76	8380	2.07	2.10	363	2.90	1.84
岸和田市	岸和田中央公園	8252	1.89	1.91	362	2.07	1.73	8252	2.03	2.07	362	2.55	1.79
参考値(大阪府所管自排局)													
高石市	カモドールMBS	8289	1.92	1.94	363	2.11	1.76	8289	2.13	2.20	363	2.86	1.86

(注) 1. 大阪府所管佐野中学校については、「大阪府地域大気汚染常時監視測定データファイル」を活用し、平成22年4月1日から平成23年3月31日までのデータを用いた。

### 風向別出現頻度及び風向別平均風速

測定局名：C（りんくう南浜）  
 期間：2010年4月1日～2010年7月31日

項目	方位	NNE	N	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	平均値	合計
出現回数 (回)		118	206	126	95	124	103	293	200	319	178	246	295	214	135	78	92	20		2928
出現頻度 (%)		5.1	7.0	4.3	3.2	4.2	3.7	10.1	6.8	10.9	6.1	8.4	10.1	7.3	4.6	2.7	3.9	2.3		100.0
平均風速 (m/s)		3.3	4.0	2.5	2.0	1.7	1.5	1.5	1.5	3.0	2.4	3.2	3.1	2.4	2.8	2.0	2.5	0.3		2.5

注) CALM: 静穏 (風速 0.0 m/s 以下) を示す。

### 風向図と風向別平均風速

凡例

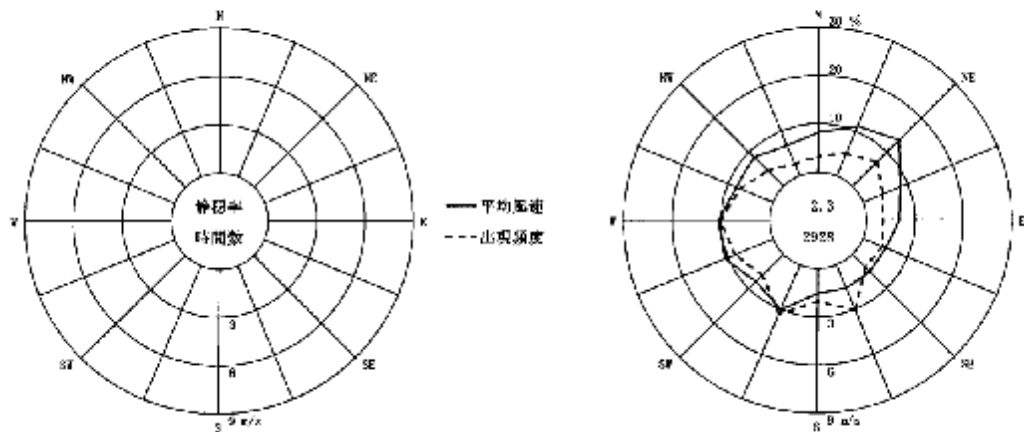


図2-3-1(1-1) 気象（風向・風速）の観測結果

風向別出現頻度及び風向別平均風速

測定局名：佐野中学校局

期 間：2010年 4月 1日～2011年 3月31日

項目	方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	平均値	合計
出現回数 (回)		455	531	408	391	469	615	457	449	645	297	361	798	1222	760	470	273	213		5747
出現頻度 (%)		3.0	3.1	2.7	2.5	3.0	3.6	2.6	2.5	3.4	1.6	2.1	4.6	7.0	4.2	2.4	1.4	1.1		100.0
平均風速 (m/s)		3.7	2.4	1.8	1.5	1.1	1.1	1.2	2.1	3.2	1.8	1.6	2.2	3.7	2.8	2.1	1.9	0.3		2.2

注) CALM: 静穏 (風速 0.4 m/s 以下) を示す。

風向別出現頻度と風向別平均風速

凡例

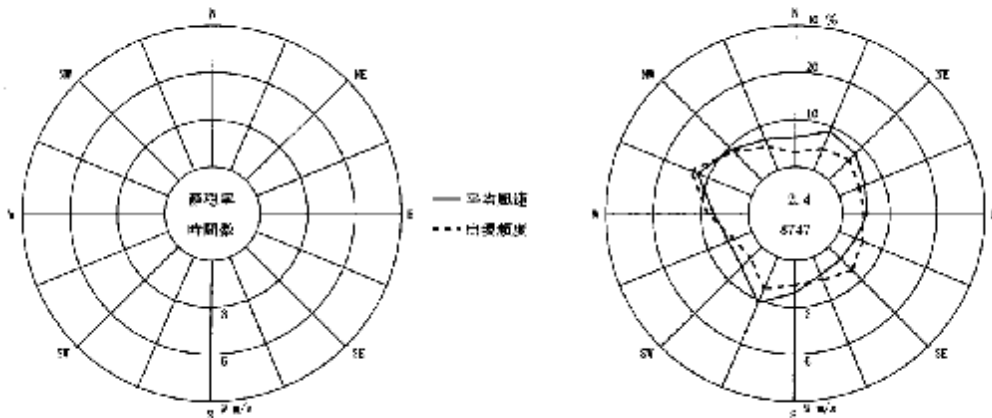


図2-3-1(1-2) 気象 (風向・風速) の観測結果

### 風向別出現頻度及び風向別平均風速

測定局名：L-2（箱作）  
 期間：2010年4月1日～2010年7月31日

項目	方位	DNE	ENE	ESE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	ENE	N	CALM	平均値	合併
出現度数 (回)		157	194	143	133	104	105	171	337	375	165	118	168	255	189	138	126	79		2928
出現頻度 (%)		4.3	6.6	4.0	4.2	3.6	3.6	3.8	11.6	12.8	6.6	4.0	5.7	9.1	6.5	4.7	4.4	2.7		100.0
平均風速 (m/s)		3.7	5.1	3.9	3.4	1.9	1.8	1.9	3.1	3.7	4.0	3.1	3.4	3.1	2.6	2.6	3.1	3.3		3.4

注) CALM: 静穏 (風速 0.4 m/s 以下) を示す。

### 風配図と風向別平均風速

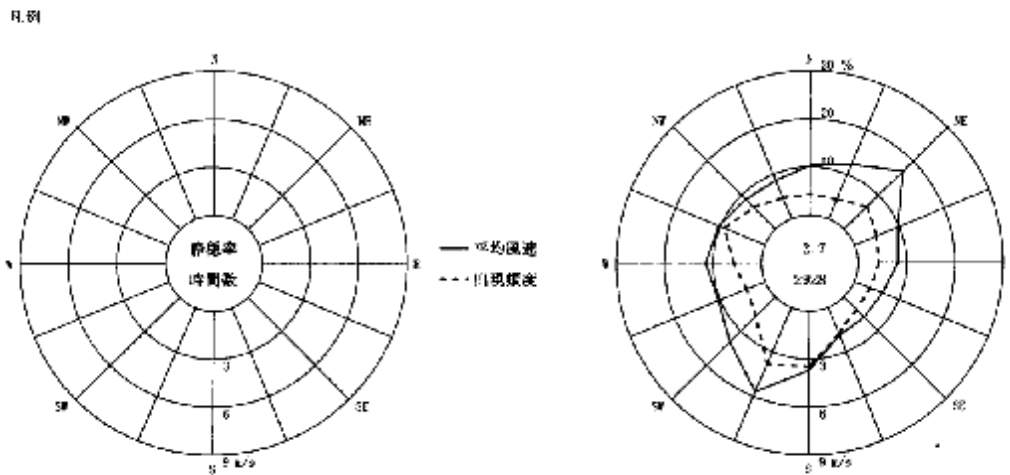
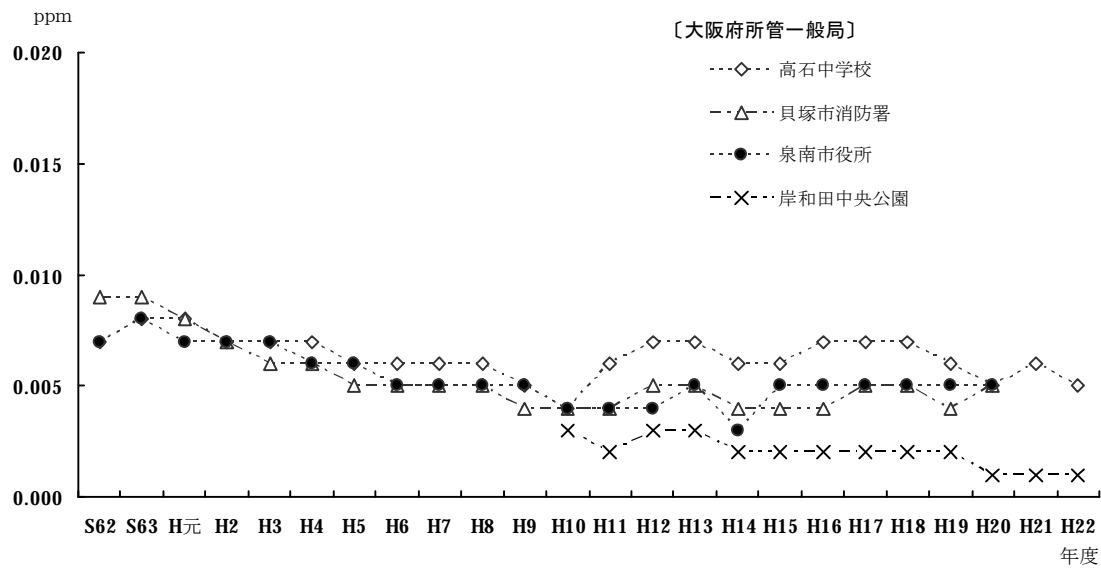
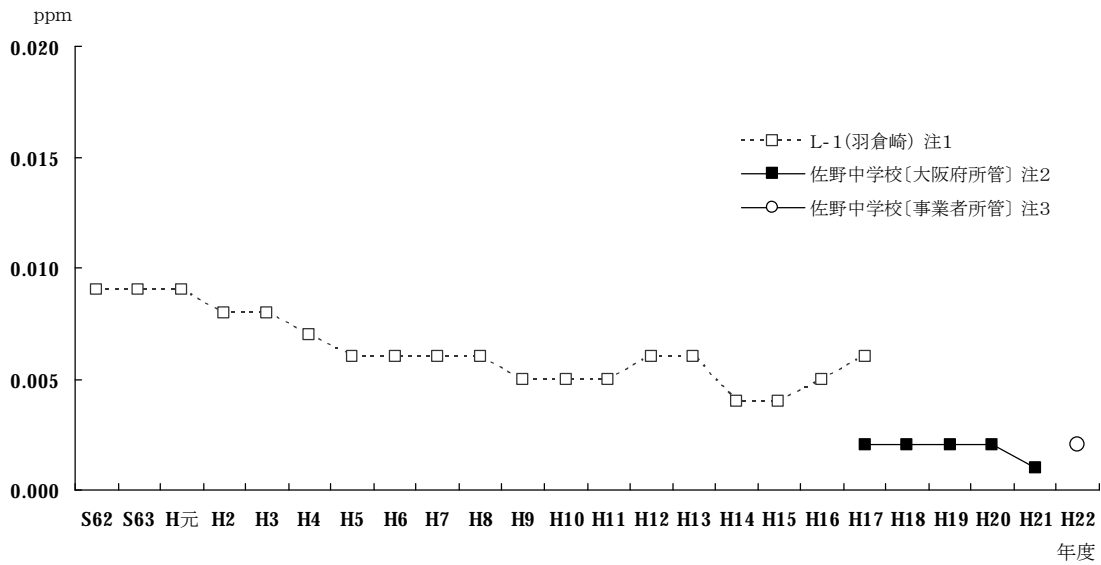


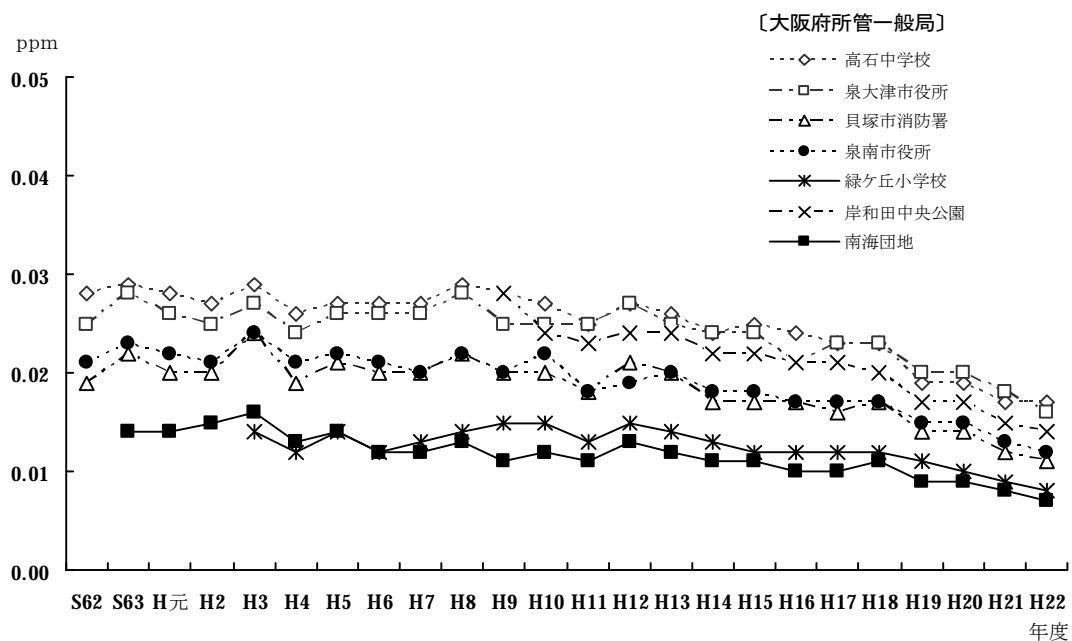
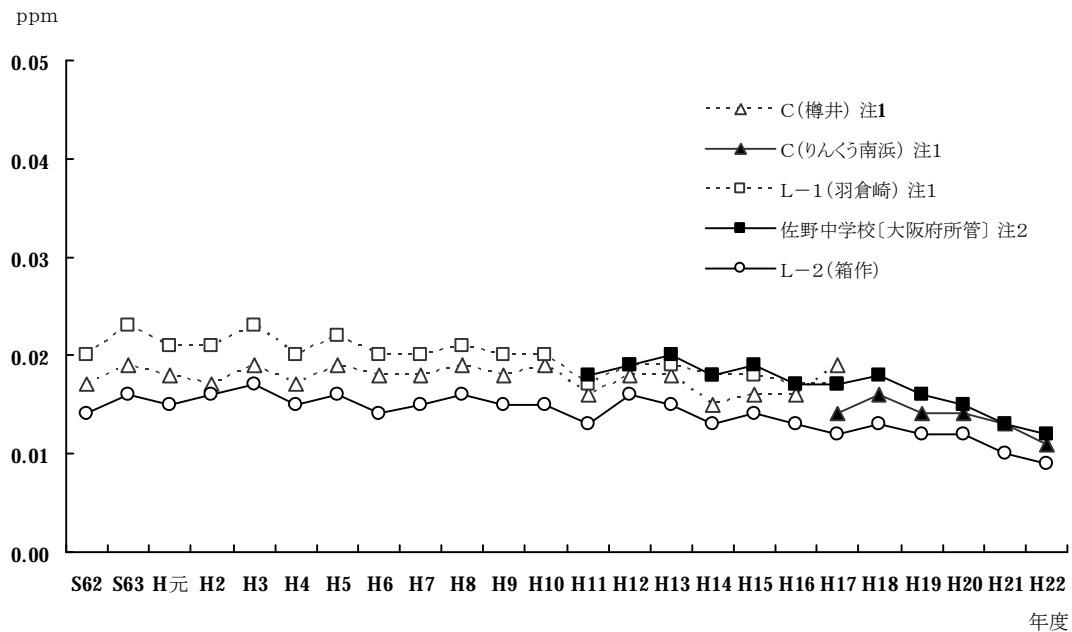
図2-3-1(1-3) 気象（風向・風速）の観測結果



- (注) 1. 測定期間：L-1（羽倉崎）については平成17年9月21日まで。  
 2. 大阪府所管佐野中学校局については、「大阪府地域大気汚染常時監視測定データファイル」より、平成17年12月1日から平成22年3月31日までのデータを活用した。  
 3. 事業者所管佐野中学校局は、平成22年4月1日から平成22年7月31日までのデータを用いた。

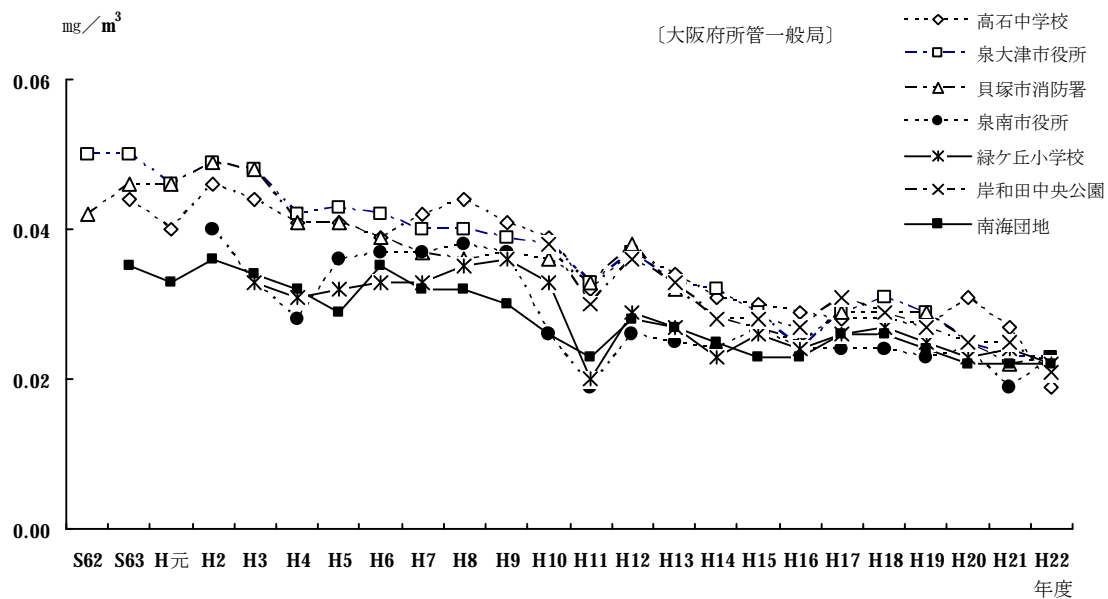
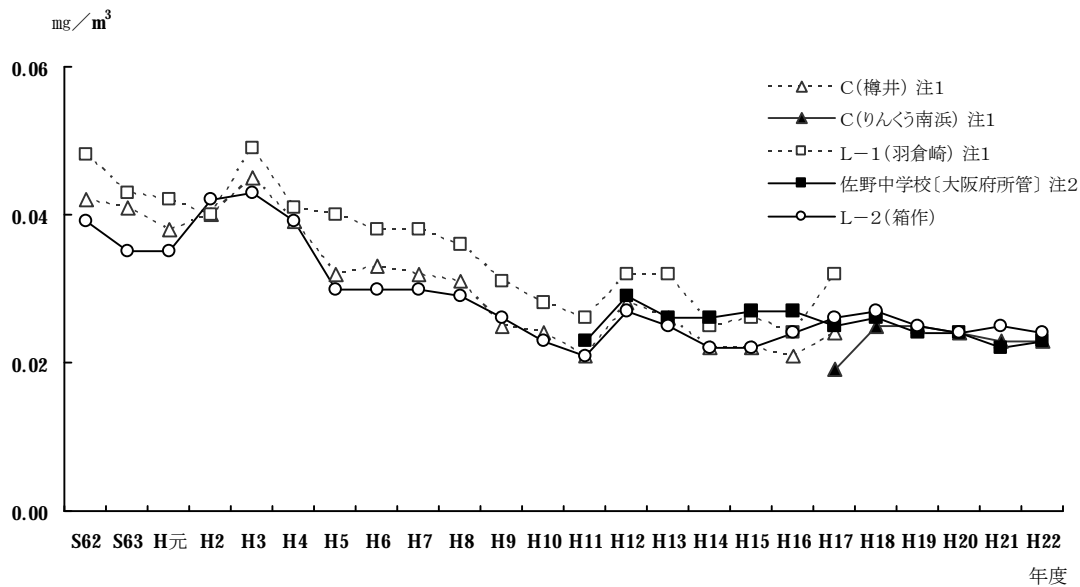
図2-3-1(2) 二酸化硫黄濃度(年平均値)の経年変化





(注) 1. 測定期間：C（樽井）は平成17年6月9日まで、C（りんくう南浜）は平成22年7月31日まで、  
L-1（羽倉崎）は平成17年9月21日まで、L-2（箱作）は平成22年7月31日まで。  
2. 大阪府所管佐野中学校局については、「大阪府地域大気汚染常時監視測定データファイル」  
より、平成17年度から平成22年度までのデータを活用した。

図2-3-1(3) 二酸化窒素濃度(年平均値)の経年変化



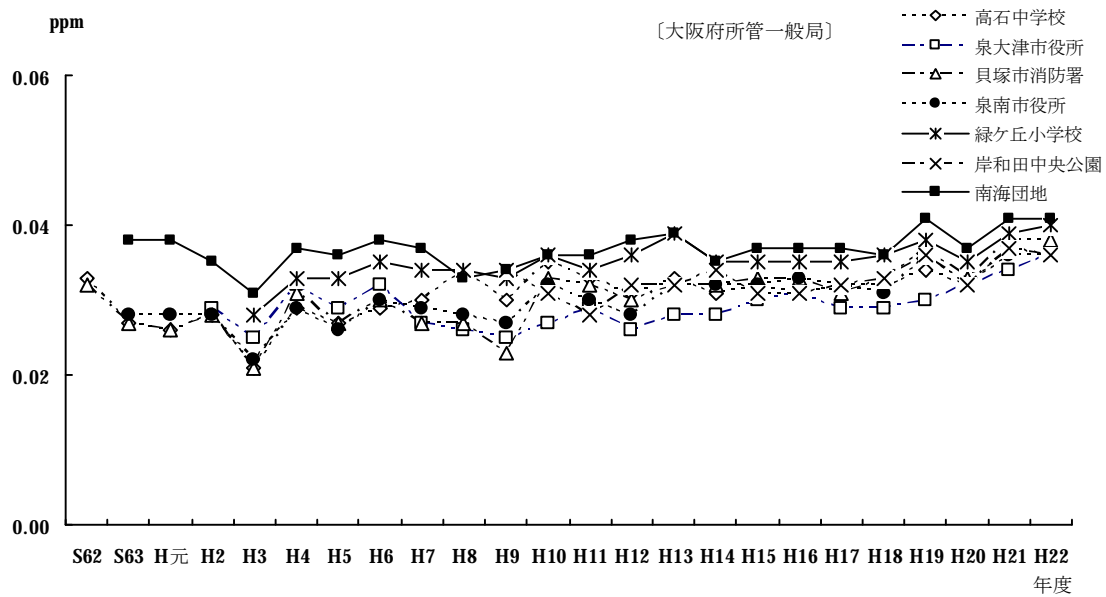
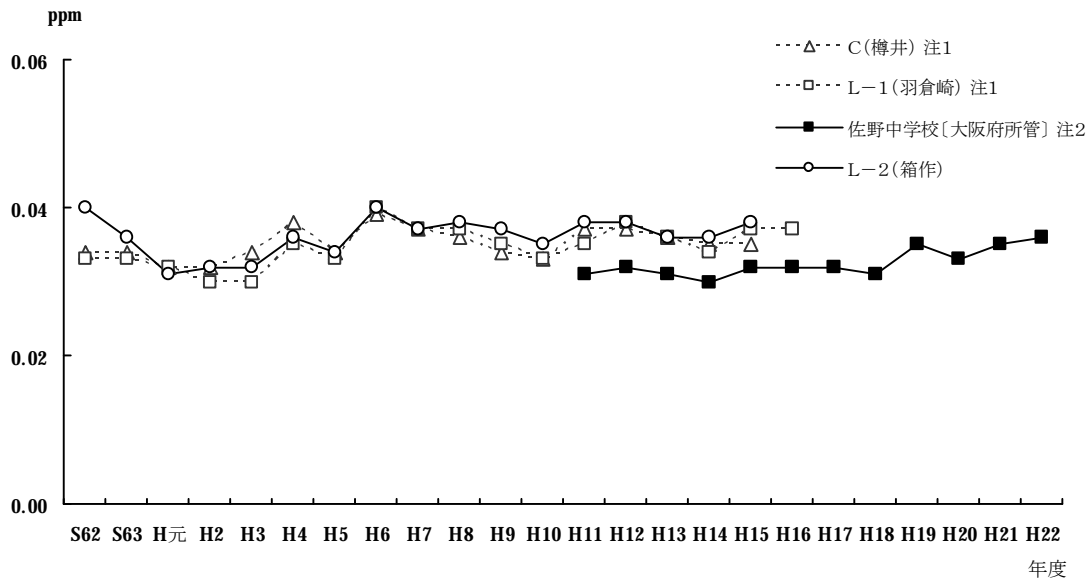
- (注) 1. 測定期間：C（樽井）は平成17年6月9日まで、C（りんくう南浜）は平成22年7月31日まで、L-1（羽倉崎）は平成17年9月21日まで、L-2（箱作）は平成22年7月31日まで。  
2. 大阪府所管佐野中学校局については、「大阪府地域大気汚染常時監視測定データファイル」より、平成17年度から平成22年度までのデータを活用した。

図2-3-1(4) 浮遊粒子状物質濃度(年平均値)の経年変化

表2-3-1(6) 黄砂観測状況

黄砂観測日	全国観測地点数
平成22年 4月30日	23
平成22年 5月 1日	11
平成22年 5月 4日	32
平成22年 5月 5日	27
平成22年 5月 9日	2
平成22年 5月21日	24
平成22年 5月22日	22
平成22年 5月25日	21
平成22年11月12日	37
平成22年11月13日	30
平成22年11月14日	29
平成22年11月15日	14
平成22年12月 3日	30

- (注)
1. 気象庁ホームページの黄砂観測日及び観測地点一覧より大阪府（大阪管区气象台）で黄砂が観測された日を抜粋
  2. 「全国観測地点数」は、全国の61の気象観測所のうち黄砂の観測された地点数
  3. 黄砂の観測は、空中に浮遊した黄砂で大気が混濁した状態を観測者が目視で確認した場合、「黄砂観測日」とされている。黄砂観測日は、視程により4段階（2km未満、2～5km、5～10km、10km以上）に区分して公表されているが、本表では視程の長短にかかわらず、黄砂の観測があった日を集計している。



(注) 1. 測定期間：C（樽井）及びL-2（箱作）は平成15年まで、L-1（羽倉崎）は平成16年まで。  
 2. 大阪府所管佐野中学校局については、「大阪府地域大気汚染常時監視測定データファイル」より、平成17年度から平成22年度までのデータを活用した。

図2-3-1(5) 光化学オキシダント濃度(昼間の1時間値の年平均値)の経年変化

表2-3-2(1) 海域水質の経年測定結果 (COD)

COD (mg/L)		C 1			C 2			C 3			C 4		
	層	最小	最大	平均値	最小	最大	平均値	最小	最大	平均値	最小	最大	平均値
平成11年度	上層	1.5	3.8	2.3	1.5	3.4	2.2	1.5	3.3	2.2	1.6	3.6	2.4
	下層	1.5	2.5	1.9	1.4	2.2	1.8	1.4	2.2	1.8	1.7	2.6	2.1
平成12年度	上層	1.7	2.9	2.1	1.6	2.4	2.0	1.7	3.0	2.0	1.7	2.8	2.2
	下層	1.6	2.3	1.8	1.5	2.4	1.8	1.5	2.2	1.7	1.6	2.6	1.9
平成13年度	上層	1.6	3.7	2.5	1.7	3.8	2.4	1.6	3.5	2.2	1.7	3.7	2.5
	下層	1.5	2.6	1.7	1.6	2.4	1.9	1.5	2.3	2.0	1.8	2.8	2.1
平成14年度	上層	1.7	5.5	2.9	1.8	3.6	2.5	1.7	2.7	2.3	1.7	3.6	2.7
	下層	1.5	2.5	2.0	1.7	2.5	2.0	1.7	2.7	2.1	1.9	3.4	2.4
平成15年度	上層	2.1	5.8	3.1	2.0	3.3	2.7	2.0	3.2	2.6	2.1	5.7	3.0
	下層	1.7	2.7	2.2	1.7	2.3	2.0	1.6	2.8	2.2	1.9	3.3	2.3
平成16年度	上層	2.2	5.3	3.3	1.8	3.5	2.6	1.7	3.5	2.7	2.2	4.3	3.2
	下層	1.6	2.2	1.9	1.6	2.4	1.9	1.6	2.7	2.2	1.9	3.2	2.3
平成17年度	上層	1.9	4.8	2.8	1.8	3.6	2.5	1.9	3.5	2.4	1.8	3.7	2.6
	下層	1.5	2.5	2.0	1.2	2.2	1.8	1.6	2.3	1.9	1.4	2.5	2.0
平成18年度	上層	1.8	3.7	2.7	1.5	3.1	2.1	1.6	3.0	2.3	1.9	3.1	2.5
	下層	1.4	2.2	1.7	1.5	2.3	1.8	1.9	2.2	2.0	1.8	2.6	2.2
平成19年度	上層	1.6	4.0	2.9	1.5	3.0	2.4	1.5	3.5	2.4	1.4	3.2	2.5
	下層	1.3	2.3	1.8	1.5	2.4	1.9	1.2	2.4	1.8	1.1	2.4	1.8
平成20年度	上層	1.8	4.3	3.0	1.3	4.2	2.7	1.6	3.9	2.7	1.7	4.6	2.9
	下層	1.6	2.5	2.2	1.4	2.9	2.3	1.7	2.6	2.3	2.0	2.7	2.5
平成21年度	上層	1.6	3.4	2.5	1.6	3.2	2.3	1.7	3.9	2.6	1.6	3.6	2.4
	下層	1.6	2.7	2.2	1.5	2.5	2.0	1.6	2.8	2.1	1.4	3.0	2.0
平成22年度	上層	2.0			1.9			1.7			2.4		
	下層	1.7			1.7			1.6			2.1		

(注) 1. 平成11年度から平成17年度は月調査、平成18年度から平成21年度は四季調査における最大、最小及び平均値。  
2. 平成22年度は、年1回 (5月)調査の実測値。

COD (mg/L)		N 1			N 2			N 3		
	層	最小	最大	平均値	最小	最大	平均値	最小	最大	平均値
平成18年度	上層	1.7	3.5	2.6	1.7	3.5	2.7	1.4	3.1	2.5
	下層	1.2	2.3	1.7	1.2	2.4	1.9	1.8	2.5	2.2
平成19年度	上層	1.3	3.2	2.6	1.4	3.3	2.6	1.2	3.3	2.6
	下層	1.5	2.3	1.8	1.2	2.3	1.8	1.6	2.5	2.1
平成20年度	上層	2.0	4.6	2.8	1.9	4.5	2.8	1.7	2.5	2.1
	下層	1.5	2.6	2.1	1.6	2.2	2.0	1.4	2.4	1.9
平成21年度	上層	1.4	3.2	2.3	1.5	3.4	2.5	1.5	3.6	2.3
	下層	1.3	2.3	1.7	1.2	2.3	1.8	1.5	2.8	2.1
平成22年度	上層	1.4	3.7	2.2	1.5	3.6	2.4	1.8	2.9	2.4
	下層	1.4	1.9	1.7	1.3	2.2	1.7	1.7	2.3	1.9

表2-3-2(2) 海域水質の経年測定結果 (DO)

DO (mg/L)		C 1			C 2			C 3			C 4		
	層	最小	最大	平均値	最小	最大	平均値	最小	最大	平均値	最小	最大	平均値
平成11年度	上層	7.1	10	8.9	7.2	10	8.7	6.4	11	8.7	6.3	10	8.9
	下層	4.6	10	7.0	4.7	9.9	7.1	4.7	10	7.1	3.5	9.8	6.7
平成12年度	上層	7.3	11	9.0	6.5	11	8.7	5.9	11	8.6	6.6	11	8.8
	下層	4.7	11	7.7	5.5	11	7.8	5.8	9.7	7.7	2.9	11	7.5
平成13年度	上層	6.8	12	9.2	7.1	11	8.8	6.6	11	8.7	7.0	11	9.0
	下層	4.6	9.8	7.2	4.9	10	7.3	4.9	10	7.4	4.5	10	7.1
平成14年度	上層	7.3	14	10	7.0	12	9.1	5.4	12	8.8	7.2	12	9.3
	下層	1.1	9.8	6.8	1.7	10	7.0	2.0	10	7.5	4.6	11	7.8
平成15年度	上層	7.4	14	9.6	7.3	11	8.9	7.3	12	9.1	7.2	13	9.4
	下層	5.2	9.8	7.7	4.6	10	7.5	4.7	12	7.9	3.8	11	7.5
平成16年度	上層	6.9	15	10	6.7	11	8.8	5.9	13	8.9	7.4	13	9.3
	下層	5.1	10	7.4	5.3	10	7.5	4.5	10	7.3	4.7	10	7.3
平成17年度	上層	6.4	11	9.1	6.3	11	8.7	6.2	10	8.6	6.1	10	8.9
	下層	5.0	9.8	7.4	5.6	9.8	7.5	5.5	9.8	7.5	5.5	9.9	7.4
平成18年度	上層	7.6	10	8.7	7.5	9.8	8.6	7.7	9.6	8.8	7.7	10	9.0
	下層	2.0	9.0	6.6	5.3	8.1	7.2	3.6	8.3	6.9	3.7	8.6	6.8
平成19年度	上層	7.6	13	11	7.8	11	9.4	7.6	12	9.9	7.3	12	10
	下層	3.6	11	7.5	5.4	11	8.2	5.7	12	8.2	6.9	12	8.4
平成20年度	上層	7.9	9.8	8.7	7.8	9.9	8.7	7.0	9.7	8.4	7.7	9.8	8.6
	下層	5.0	9.4	7.5	5.8	9.5	7.9	5.1	9.6	7.7	4.2	9.4	7.4
平成21年度	上層	7.4	11	9.2	6.4	10	8.4	7.3	11	9.0	7.1	11	8.8
	下層	4.6	9.6	7.2	5.0	9.6	7.5	4.9	9.7	7.6	3.5	9.4	7.0
平成22年度	上層	9.5			9.4			9.2			10		
	下層	7.9			7.8			7.8			7.8		

(注) 1. 平成11年度から平成17年度は月調査、平成18年度から平成21年度は四季調査における最大、最小及び平均値。  
2. 平成22年度は、年1回 (5月)調査の実測値。

DO (mg/L)		N 1			N 2			N 3		
	層	最小	最大	平均値	最小	最大	平均値	最小	最大	平均値
平成18年度	上層	7.6	10	8.6	6.4	10	8.4	7.4	9.7	8.8
	下層	3.0	8.0	6.5	2.6	8.7	6.2	3.1	8.9	6.6
平成19年度	上層	6.9	13	9.9	6.8	12	9.4	7.5	11	9.2
	下層	5.4	10	7.5	4.4	11	7.5	5.0	11	7.8
平成20年度	上層	7.4	9.9	8.8	6.3	9.9	8.4	6.4	9.9	8.2
	下層	5.8	9.4	7.6	3.2	9.2	6.6	3.9	9.6	7.5
平成21年度	上層	7.5	10	9.0	7.7	10	8.8	7.1	10	8.6
	下層	4.5	9.6	7.1	3.9	9.6	7.4	3.9	9.6	6.8
平成22年度	上層	7.9	10	9.1	8.4	9.9	9.3	7.4	10	8.9
	下層	6.1	10	7.8	3.3	9.9	6.6	3.3	9.9	6.9

表2-3-2(3) 海域水質の経年測定結果 (T-N・上層)

T-N (mg/L)	C 1			C 2			C 3			C 4		
	最小	最大	平均値	最小	最大	平均値	最小	最大	平均値	最小	最大	平均値
平成11年度	0.29	0.55	0.39	0.26	0.46	0.36	0.18	0.46	0.34	0.35	0.64	0.44
平成12年度	0.27	0.59	0.37	0.26	0.43	0.35	0.29	0.48	0.35	0.26	0.71	0.42
平成13年度	0.20	0.56	0.37	0.23	0.49	0.35	0.22	0.40	0.33	0.25	0.54	0.38
平成14年度	0.26	0.59	0.38	0.28	0.46	0.35	0.24	0.39	0.29	0.28	0.48	0.38
平成15年度	0.19	0.37	0.29	0.18	0.40	0.28	0.15	0.36	0.27	0.20	0.55	0.34
平成16年度	0.24	0.49	0.33	0.22	0.36	0.27	0.21	0.33	0.28	0.24	0.53	0.33
平成17年度	0.15	0.33	0.23	0.13	0.34	0.22	0.15	0.35	0.23	0.17	0.40	0.25
平成18年度	0.28	0.37	0.34	0.24	0.28	0.26	0.21	0.28	0.25	0.18	0.36	0.27
平成19年度	0.26	0.40	0.32	0.25	0.30	0.28	0.23	0.33	0.28	0.27	0.40	0.32
平成20年度	0.21	0.43	0.29	0.20	0.36	0.28	0.20	0.37	0.28	0.20	0.42	0.30
平成21年度	0.19	0.36	0.26	0.20	0.30	0.24	0.19	0.37	0.27	0.20	0.36	0.28
平成22年度	0.11			0.32			0.30			0.36		

(注) 1. 平成11年度から平成17年度は月調査、平成18年度から平成21年度は四季調査における最大、最小及び平均値。  
2. 平成22年度は、年1回 (5月)調査の実測値。

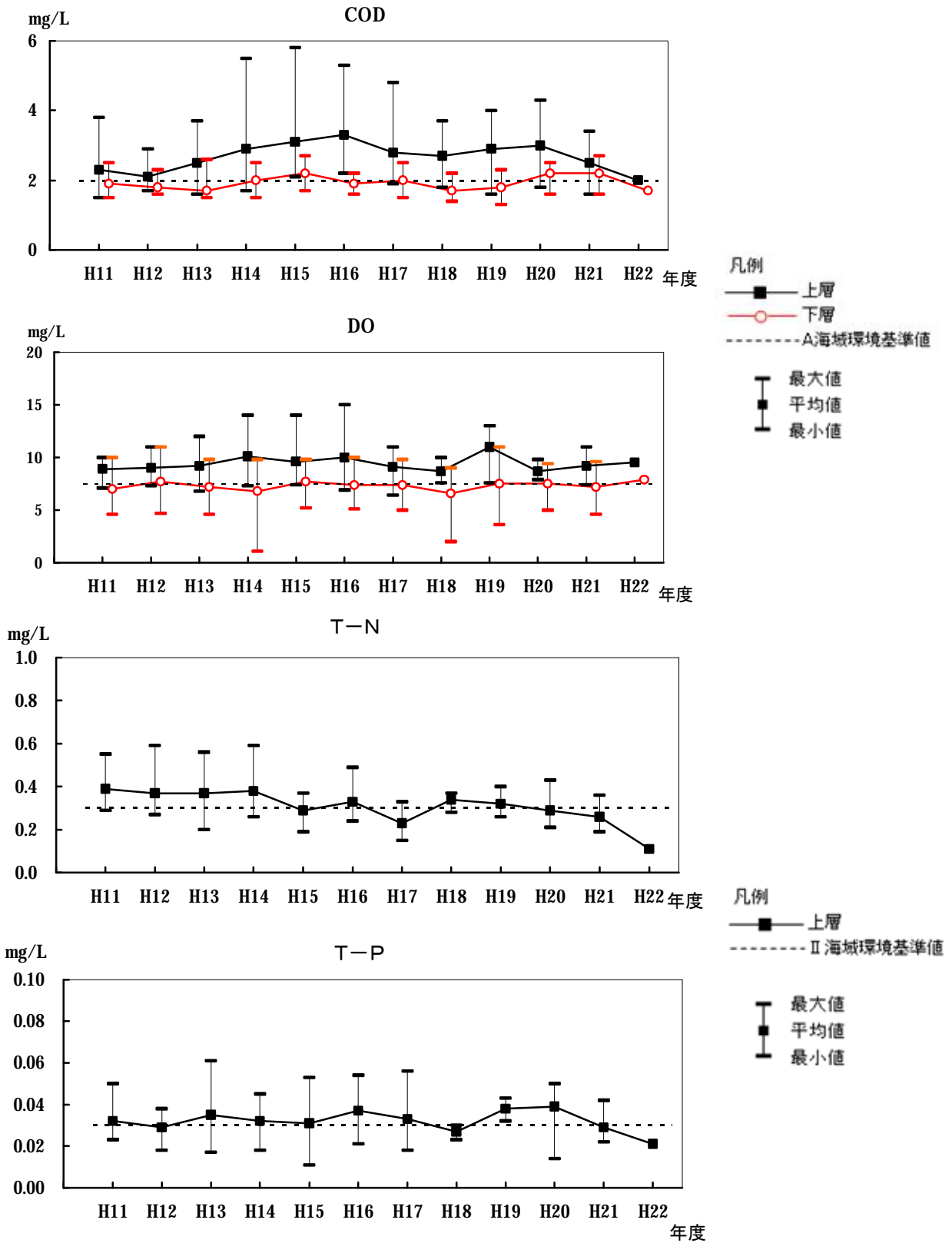
T-N (mg/L)	N 1			N 2			N 3		
	最小	最大	平均値	最小	最大	平均値	最小	最大	平均値
平成18年度	0.23	0.34	0.28	0.24	0.42	0.24	0.21	0.34	0.26
平成19年度	0.31	0.71	0.41	0.24	0.37	0.31	0.21	0.25	0.23
平成20年度	0.23	0.43	0.31	0.26	0.46	0.32	0.21	0.35	0.27
平成21年度	0.20	0.33	0.27	0.17	0.34	0.25	0.19	0.33	0.25
平成22年度	0.15	0.35	0.25	0.08	0.32	0.19	0.17	0.30	0.24

表2-3-2(4) 海域水質の経年測定結果 (T-P・上層)

T-P (mg/L)	C 1			C 2			C 3			C 4		
	最小	最大	平均値	最小	最大	平均値	最小	最大	平均値	最小	最大	平均値
平成11年度	0.023	0.050	0.032	0.018	0.046	0.029	0.020	0.040	0.029	0.021	0.056	0.034
平成12年度	0.018	0.038	0.029	0.018	0.037	0.029	0.019	0.048	0.030	0.020	0.050	0.032
平成13年度	0.017	0.061	0.035	0.019	0.054	0.033	0.022	0.056	0.035	0.017	0.064	0.037
平成14年度	0.018	0.045	0.032	0.016	0.041	0.031	0.020	0.042	0.029	0.022	0.041	0.031
平成15年度	0.011	0.053	0.031	0.012	0.044	0.029	0.008	0.041	0.030	0.011	0.046	0.032
平成16年度	0.021	0.054	0.037	0.024	0.045	0.034	0.025	0.046	0.035	0.026	0.055	0.037
平成17年度	0.018	0.056	0.033	0.016	0.054	0.030	0.018	0.043	0.032	0.018	0.053	0.034
平成18年度	0.023	0.030	0.027	0.019	0.032	0.026	0.019	0.035	0.024	0.019	0.033	0.027
平成19年度	0.032	0.043	0.038	0.024	0.034	0.030	0.028	0.036	0.032	0.032	0.037	0.034
平成20年度	0.014	0.050	0.039	0.014	0.038	0.030	0.019	0.041	0.030	0.021	0.050	0.038
平成21年度	0.022	0.042	0.029	0.017	0.041	0.029	0.029	0.043	0.034	0.026	0.041	0.032
平成22年度	0.021			0.050			0.022			0.110		

(注) 1. 平成11年度から平成17年度は月調査、平成18年度から平成21年度は四季調査における最大、最小及び平均値。  
2. 平成22年度は、年1回 (5月)調査の実測値。

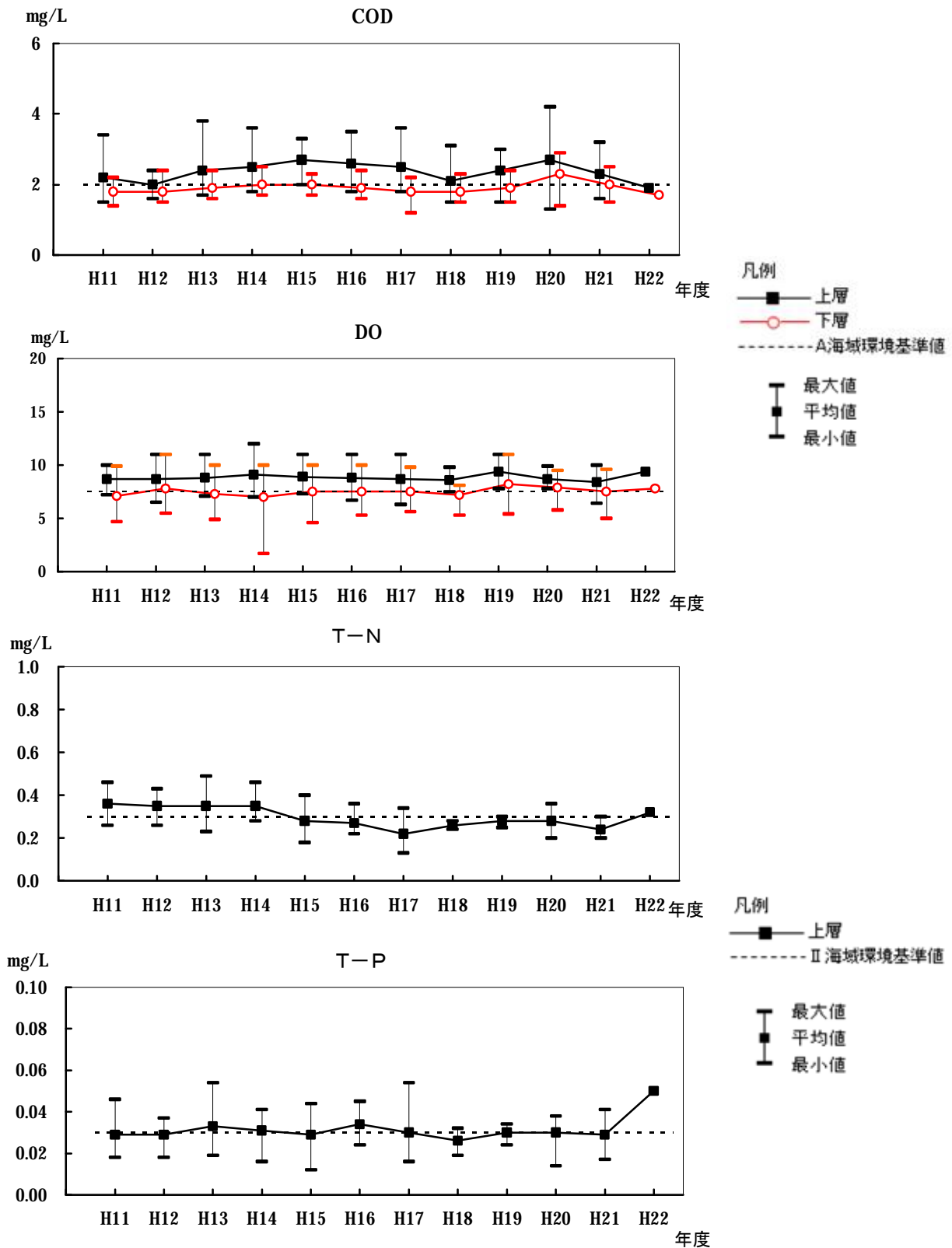
T-P (mg/L)	N 1			N 2			N 3		
	最小	最大	平均値	最小	最大	平均値	最小	最大	平均値
平成18年度	0.023	0.033	0.030	0.025	0.041	0.030	0.021	0.061	0.034
平成19年度	0.028	0.043	0.033	0.026	0.044	0.036	0.021	0.038	0.029
平成20年度	0.013	0.039	0.032	0.016	0.046	0.037	0.012	0.038	0.030
平成21年度	0.022	0.040	0.030	0.026	0.040	0.031	0.024	0.042	0.030
平成22年度	0.022	0.040	0.029	0.029	0.044	0.036	0.017	0.032	0.025



(注) 1. 平成11年度から平成17年度は月調査、平成18年度から平成21年度は四季調査における最大、最小及び平均値。  
 2. 平成22年度は、年1回（5月）調査の実測値。

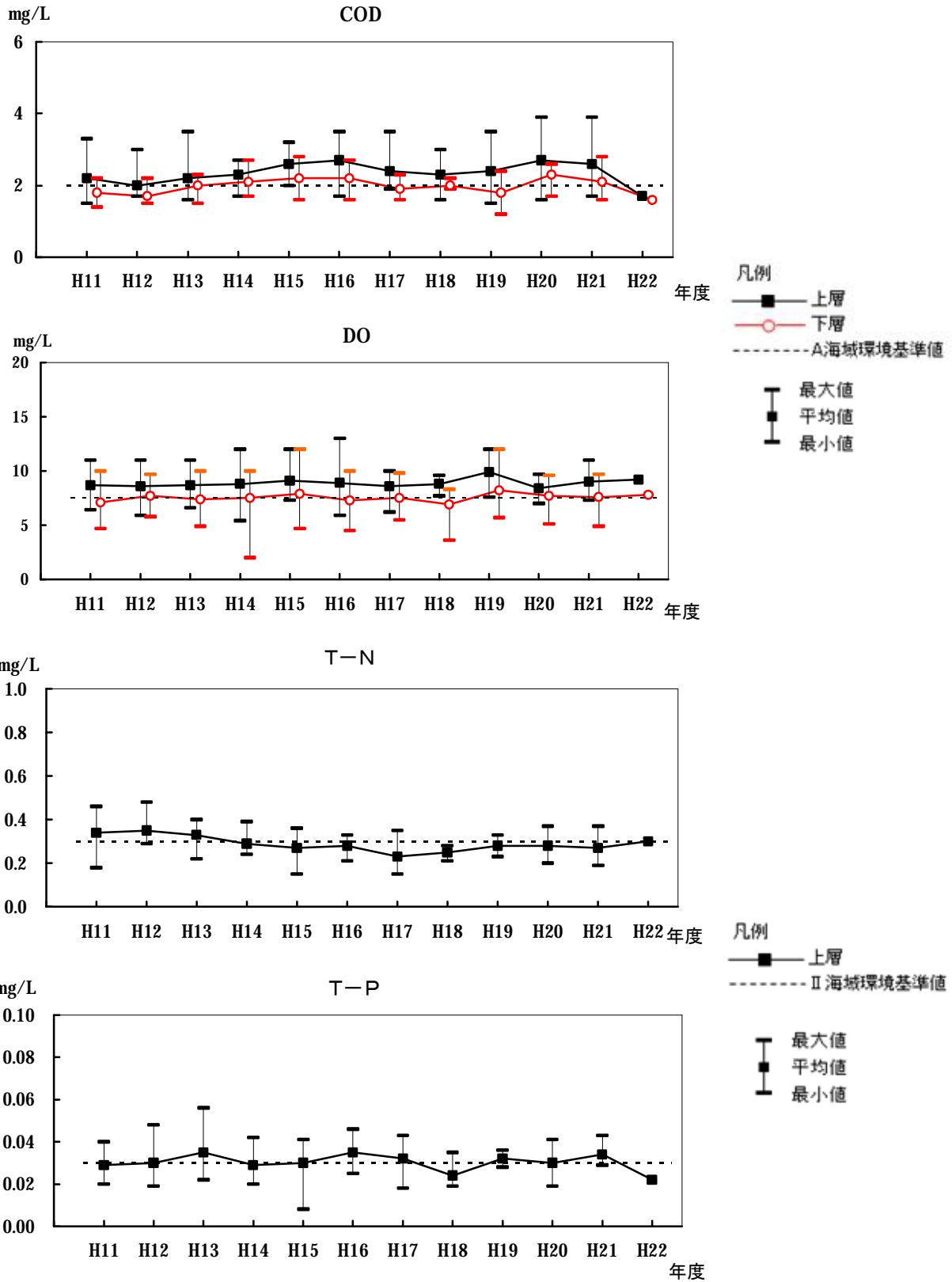
図2-3-2(1-1) 海域水質の経年測定結果（C1）





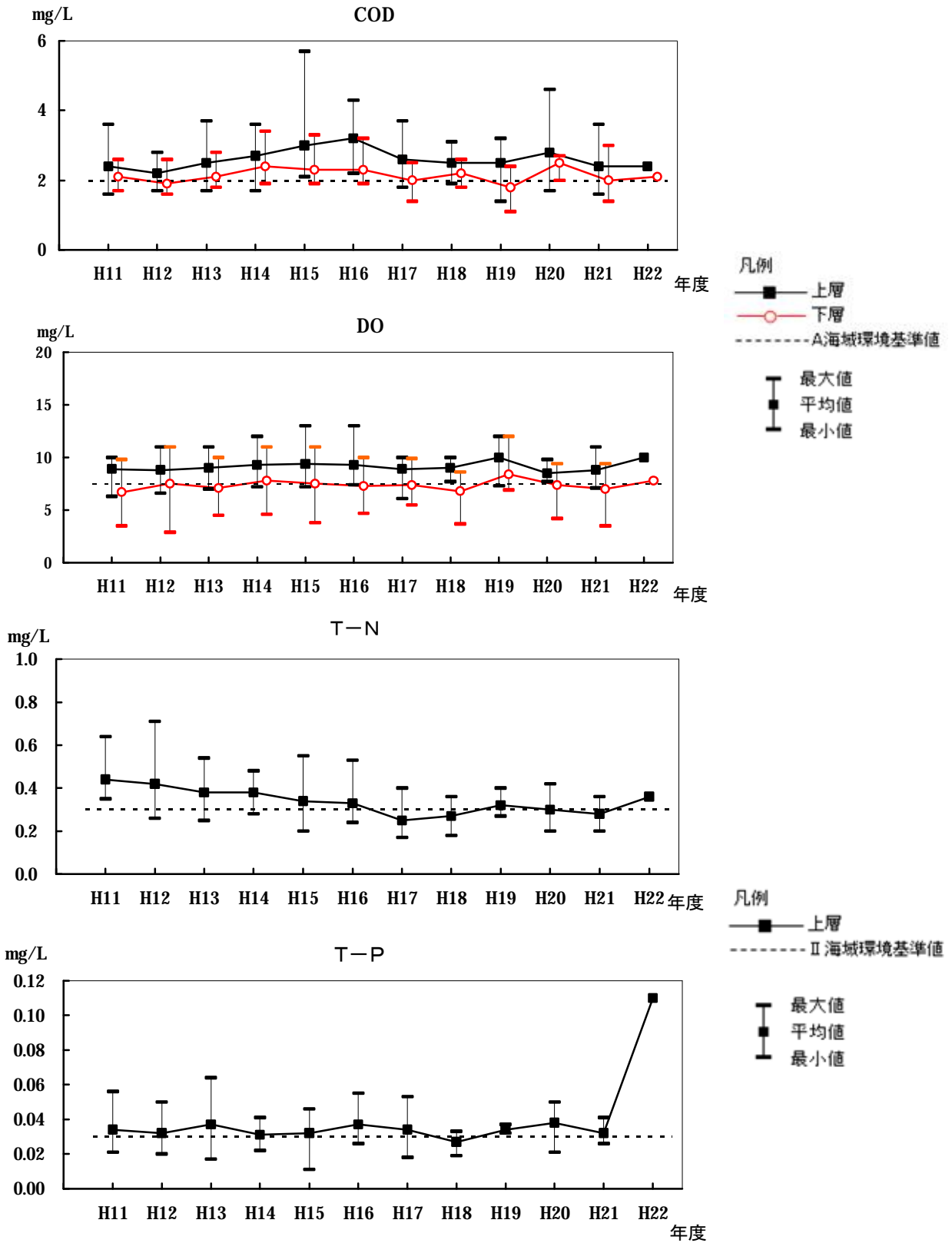
(注) 1. 平成11年度から平成17年度は月調査、平成18年度から平成21年度は四季調査における最大、最小及び平均値。  
 2. 平成22年度は、年1回（5月）調査の実測値。

図2-3-2(1-2) 海域水質の経年測定結果 (C2)



(注) 1. 平成11年度から平成17年度は月調査、平成18年度から平成21年度は四季調査における最大、最小及び平均値。  
 2. 平成22年度は、年1回（5月）調査の実測値。

図2-3-2(1-3) 海域水質の経年測定結果（C3）



(注) 1. 平成11年度から平成17年度は月調査、平成18年度から平成21年度は四季調査における最大、最小及び平均値。  
 2. 平成22年度は、年1回（5月）調査の実測値。

図2-3-2(1-4) 海域水質の経年測定結果 (C4)

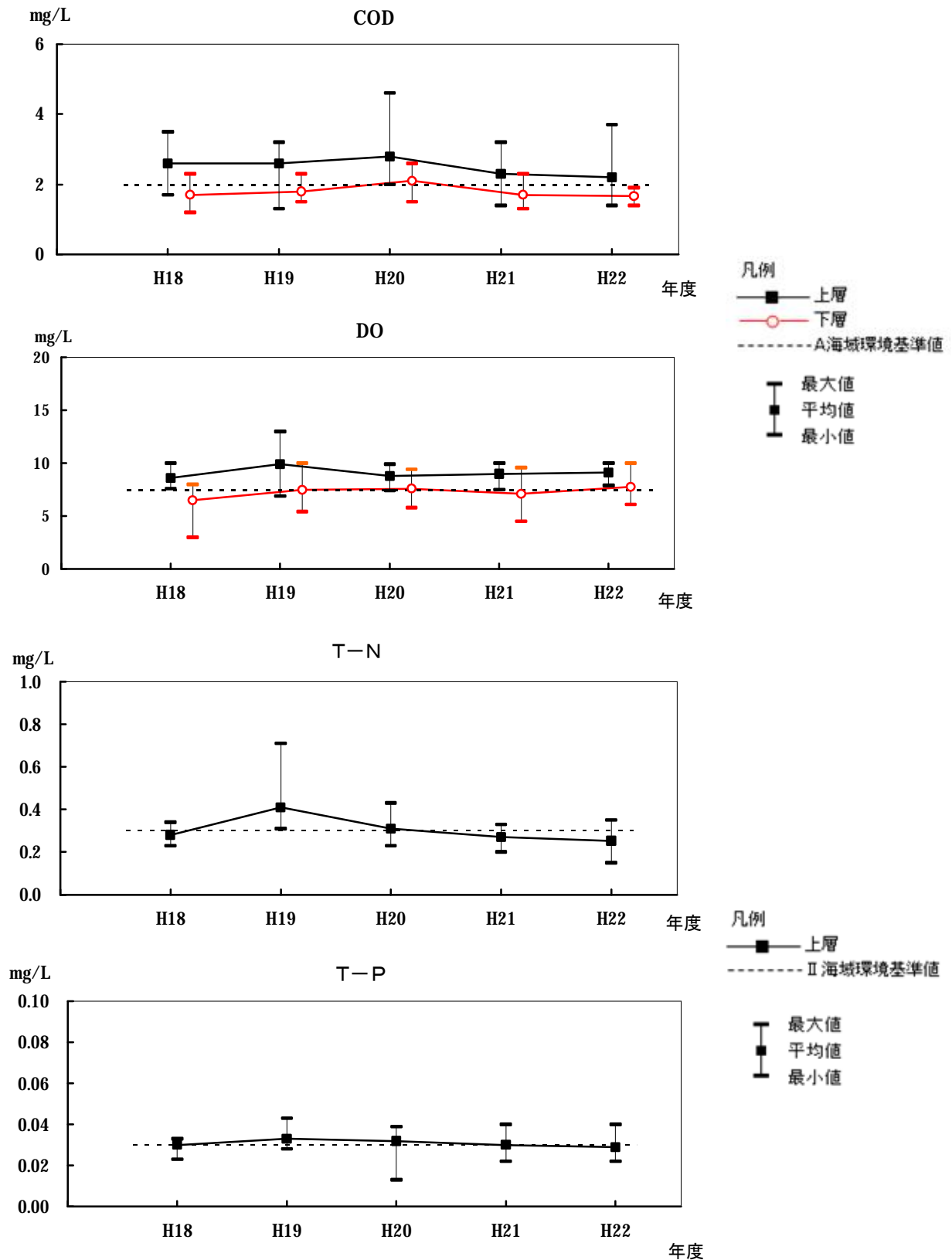


図2-3-2(1-5) 海域水質の経年測定結果 (N 1)

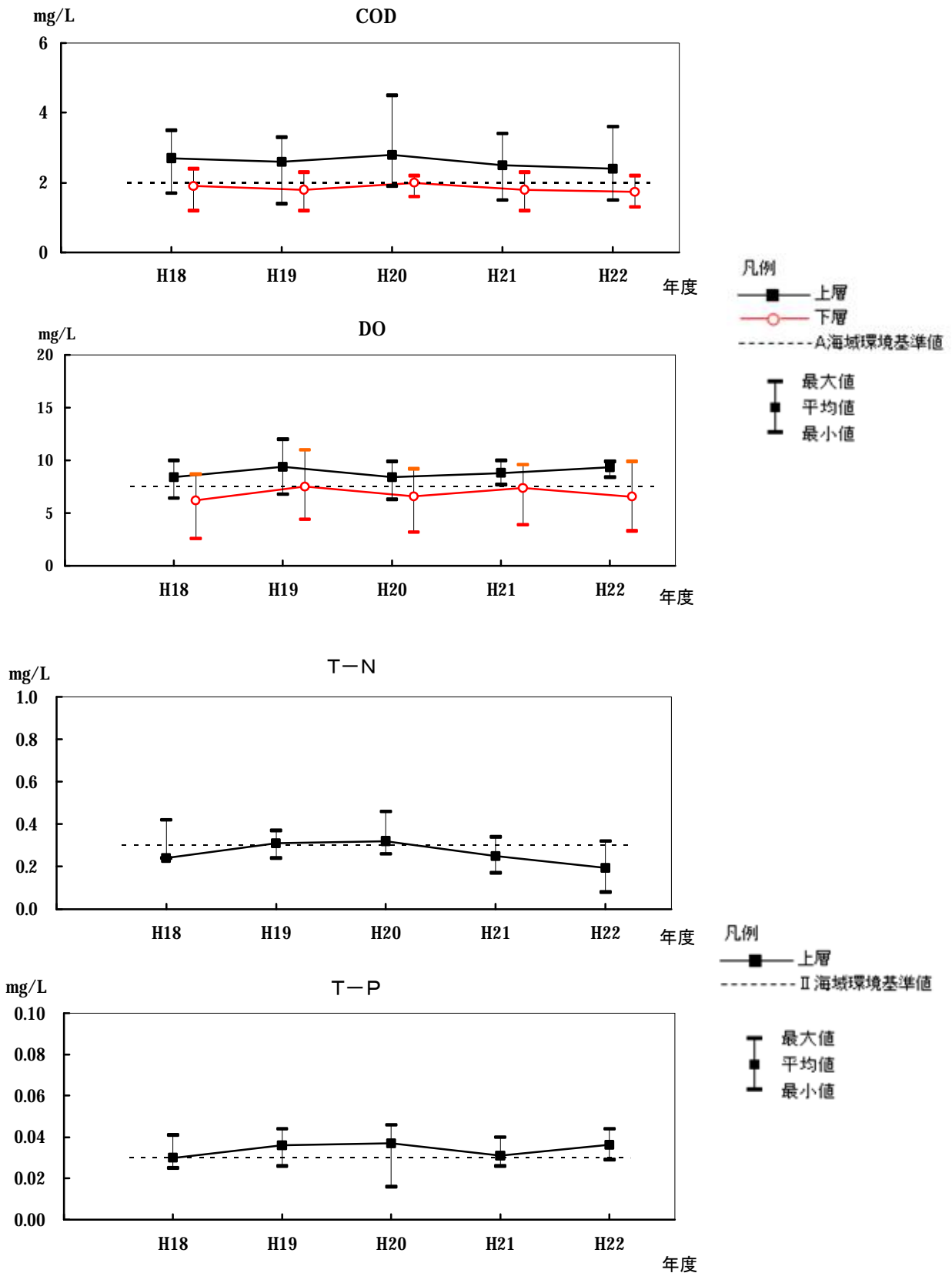


図2-3-2(1-6) 海域水質の経年測定結果 (N2)

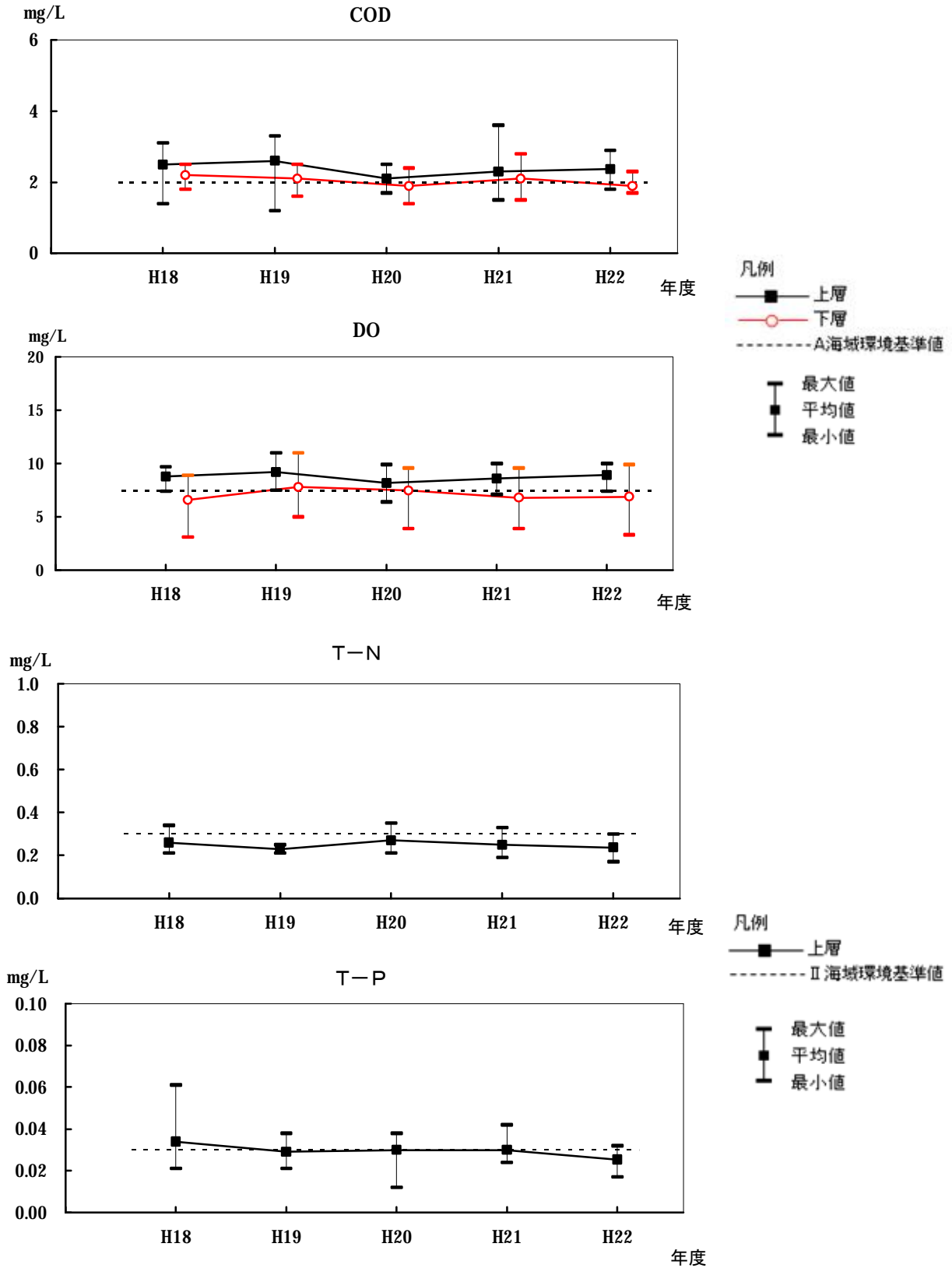
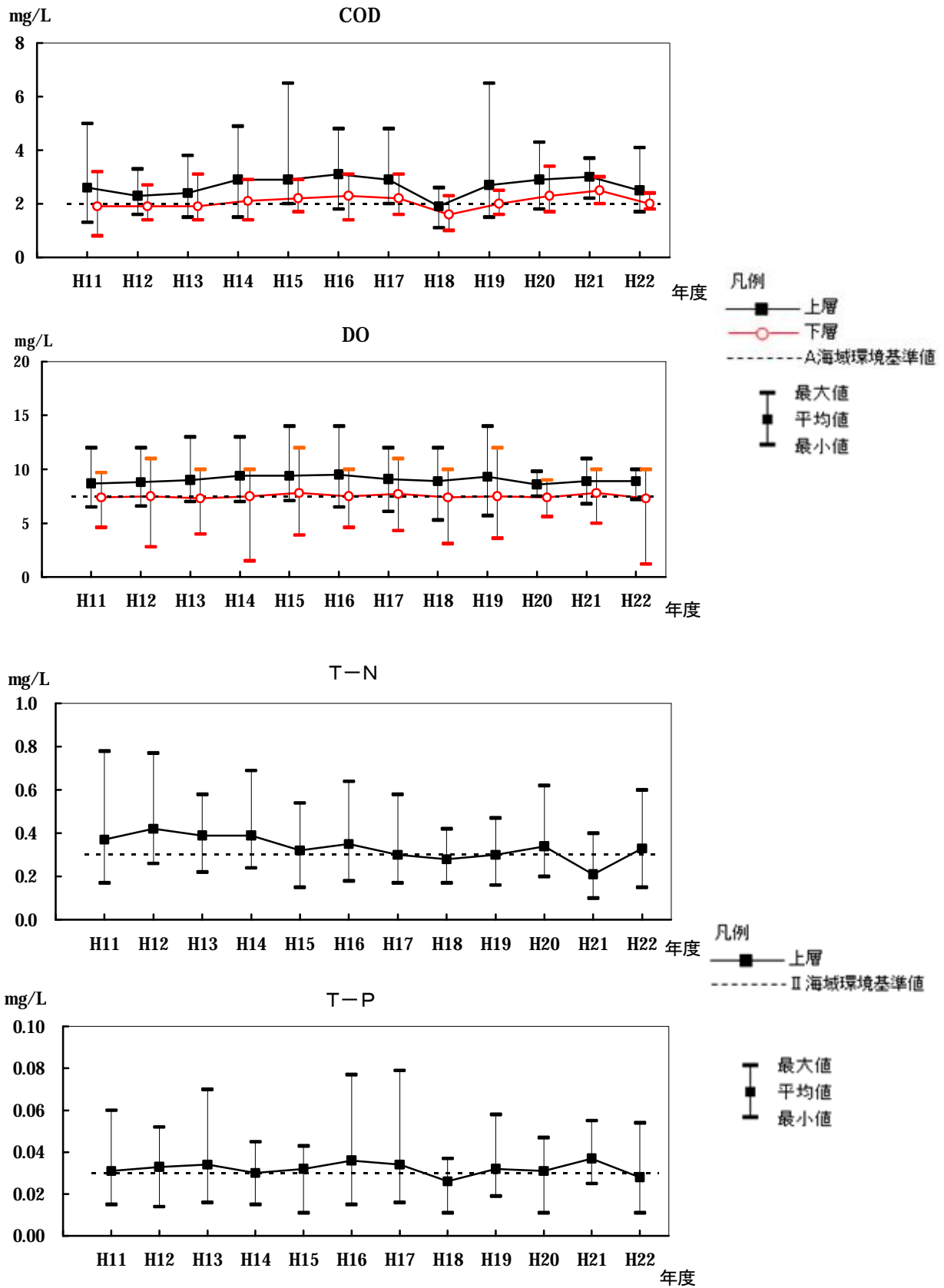


図2-3-2(1-7) 海域水質の経年測定結果 (N3)



(注) 大阪府が実施した大阪湾常時監視のうち、A-3、A-6、A-7、A-10の結果を用いた。

図2-3-2(1-8) 海域水質の経年測定結果 (大阪湾常時監視)

表2-3-3(1) 海域底質の経年測定結果（空港島周辺海域）

	地点数	COD(mg/g乾泥)		強熱減量(%)		硫化物(mg/g乾泥)	
		最小 ~ 最大	平均値	最小 ~ 最大	平均値	最小 ~ 最大	平均値
昭和61年度	5	13 ~ 34	28	2.4 ~ 10	8.3	0.05 ~ 0.18	0.14
昭和62年度	5	7.3 ~ 37	28	2.1 ~ 12	8.8	0.02 ~ 0.39	0.18
昭和63年度	5	9.0 ~ 32	20	3.1 ~ 9.7	8.1	0.01 ~ 0.34	0.15
平成元年度	5	2.9 ~ 34	21	1.6 ~ 9.9	7.9	0.09 ~ 0.52	0.26
平成2年度	5	5.7 ~ 26	18	2.2 ~ 9.2	7.6	0.04 ~ 0.62	0.32
平成3年度	5	6.6 ~ 23	17	2.4 ~ 8.9	7.6	0.14 ~ 0.79	0.42
平成4年度	5	8.6 ~ 24	19	2.8 ~ 9.0	7.6	0.19 ~ 0.91	0.51
平成5年度	5	12 ~ 29	21	4.0 ~ 9.1	7.6	0.21 ~ 0.77	0.52
平成6年度	5→4	6.9 ~ 19	14	3.5 ~ 9.0	7.7	0.10 ~ 0.69	0.43
平成7年度	4	15 ~ 26	22	8.5 ~ 9.7	9.1	0.17 ~ 0.69	0.42
平成8年度	4	18 ~ 27	22	7.5 ~ 9.1	8.2	0.34 ~ 0.84	0.59
平成9年度	4	15 ~ 24	19	7.3 ~ 9.2	8.5	0.30 ~ 0.46	0.38
平成10年度	4	23 ~ 39	30	8.3 ~ 9.4	8.9	0.32 ~ 0.84	0.54
平成11年度	4	11 ~ 37	24	8.1 ~ 9.6	9.0	0.28 ~ 0.91	0.48
平成12年度	4	9.1 ~ 32	21	6.8 ~ 8.8	8.0	0.15 ~ 0.51	0.29
平成13年度	4	11 ~ 28	18	6.0 ~ 9.5	8.2	0.20 ~ 0.94	0.38
平成14年度	4	11 ~ 21	15	7.0 ~ 9.7	8.4	0.21 ~ 1.2	0.47
平成15年度	4	7.4 ~ 19	14	6.8 ~ 9.4	8.2	0.24 ~ 0.68	0.44
平成16年度	4	7.7 ~ 21	15	6.7 ~ 9.5	8.3	0.21 ~ 0.85	0.53
平成17年度	4	11 ~ 27	20	7.2 ~ 10	8.7	0.29 ~ 0.74	0.45
平成18年度	4	15 ~ 20	18	7.0 ~ 9.4	8.3	0.22 ~ 0.63	0.41
平成19年度	4	12 ~ 23	18	7.4 ~ 11	9.0	0.25 ~ 0.64	0.43
平成20年度	4	7.5 ~ 27	19	7.2 ~ 9.6	8.7	0.21 ~ 0.33	0.27
平成21年度	4	15 ~ 33	25	6.8 ~ 9.5	8.4	0.23 ~ 0.64	0.43
平成22年度	—	—	—	—	—	—	—

- (注) 1. 平成6年9月(開港後)から調査地点を5地点から4地点に変更。  
 2. 平成11年度から2期工事に伴い調査地点位置を変更。  
 3. 調査は平成17年度までは年4回、平成18年度より年2回実施。  
 4. 平成22年度から休止。

表2-3-3(2) 海域底質の経年測定結果（内部水面）

	地点数	COD(mg/g乾泥)		強熱減量(%)		硫化物(mg/g乾泥)	
		最小 ~ 最大	平均値	最小 ~ 最大	平均値	最小 ~ 最大	平均値
平成18年度	3	3.8 ~ 13	7.4	3.6 ~ 8.4	5.2	0.16 ~ 0.62	0.37
平成19年度	3	2.8 ~ 16	8.8	3.1 ~ 9.2	5.8	0.05 ~ 0.77	0.44
平成20年度	3	2.7 ~ 19	9.1	3.0 ~ 8.7	5.4	0.08 ~ 0.77	0.32
平成21年度	3	3.0 ~ 24	12	3.0 ~ 7.8	5.6	0.08 ~ 1.1	0.45
平成22年度	3	0.5 ~ 23	13	1.7 ~ 11.8	6.5	0.09 ~ 1.1	0.42

- (注) 調査は平成21年度までは年4回、平成22年度は年3回実施。



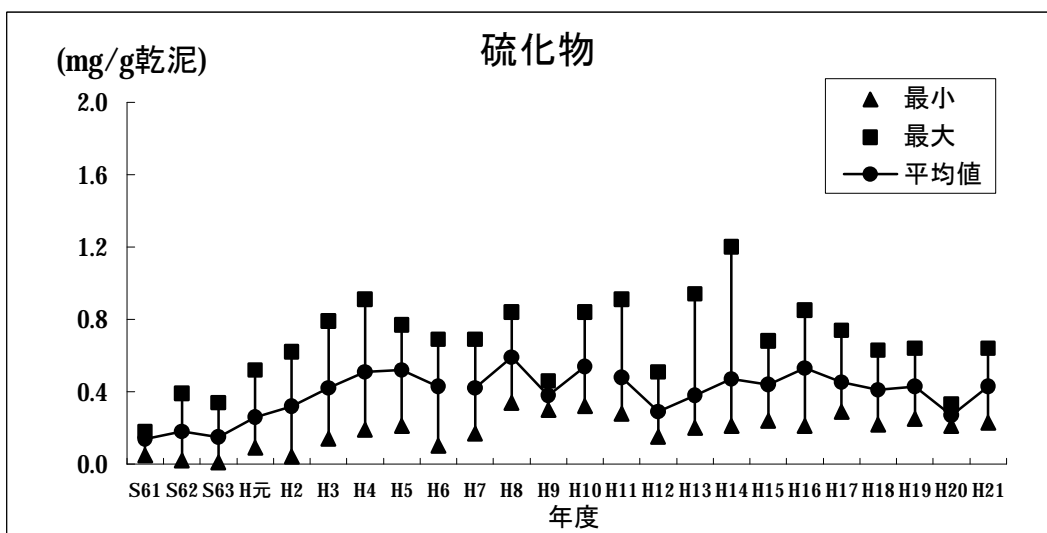
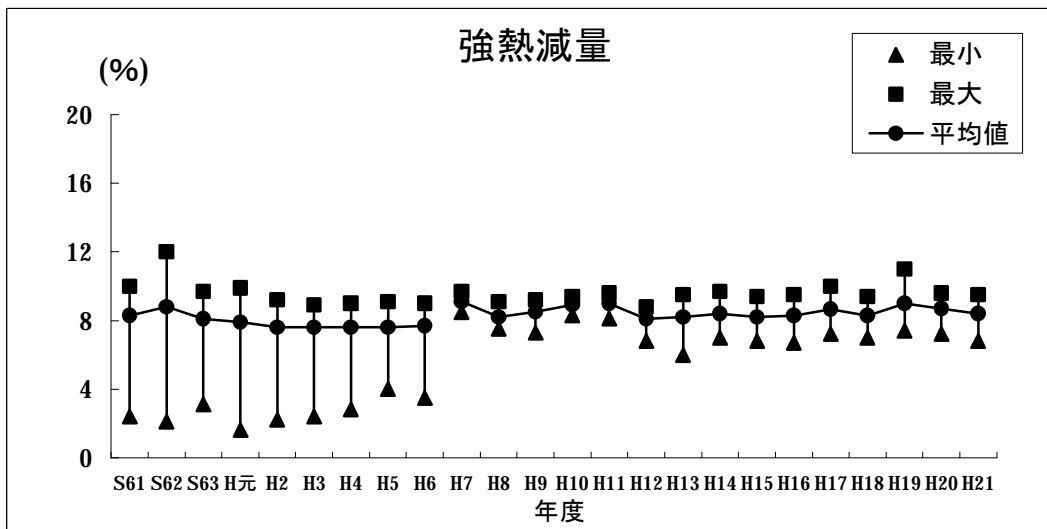
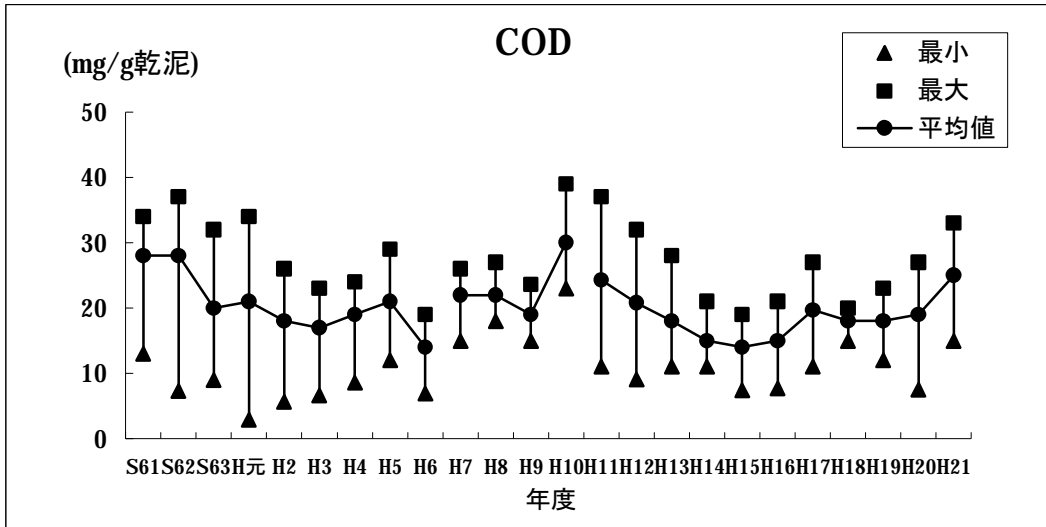


図2-3-3(1) 海域底質測定結果の経年変化（空港島周辺海域）

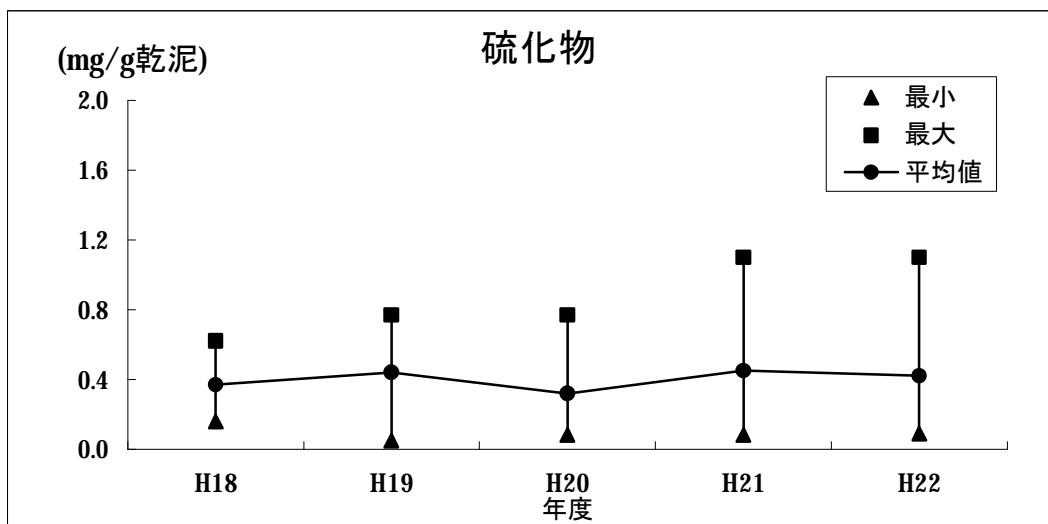
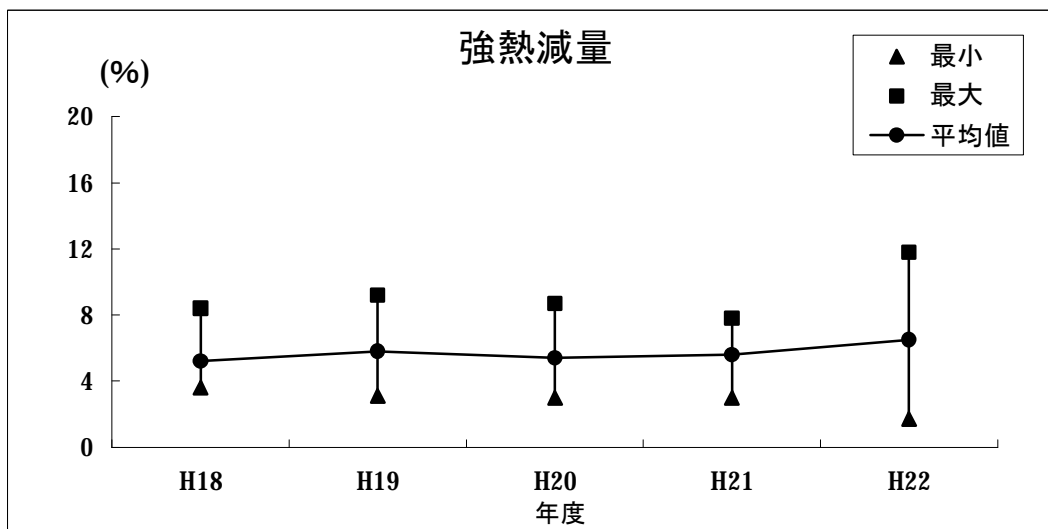
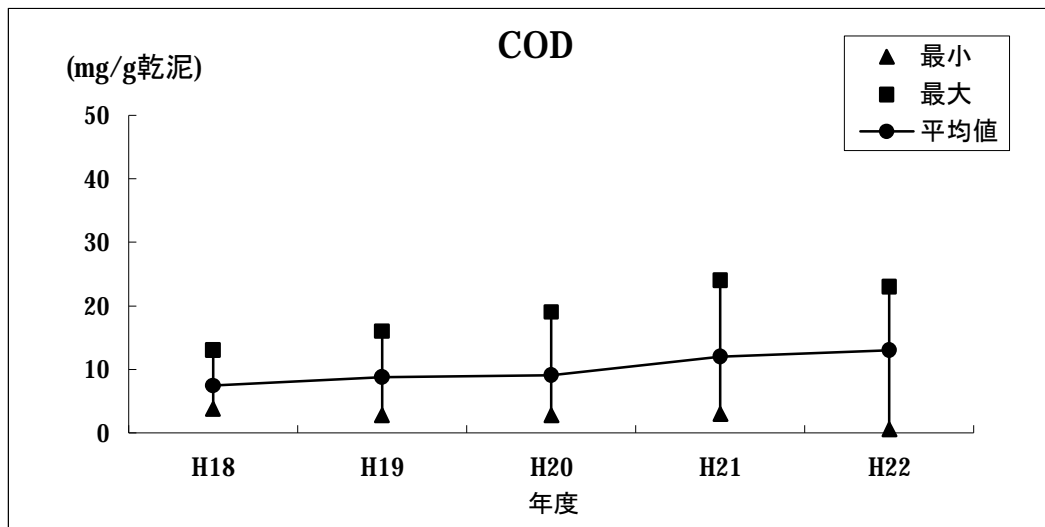


図2-3-3(2) 海域底質測定結果の経年変化 (内部水面)

表2-3-4(1) 航空機騒音の測定結果（常時測定）

測定地点		W E C P N L											
		平成22年										平成23年	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	離着陸機数 (日平均)	281	286	298	310	316	313	285	281	281	279	282	299
①泉大津市 汐見町	パワー平均	<50	<50	50	<50	<50	<50	<50	<50	51	51	<50	51
	最小	<50	-	<50	<50	-	<50	<50	<50	-	-	<50	<50
	最大	54	55	56	53	54	55	56	55	60	58	53	55
	測定日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31
②泉佐野市 りんくう往来南	パワー平均	52	52	50	<50	50	50	55	52	53	52	54	53
	最小	-	<50	<50	-	-	-	<50	<50	-	-	<50	<50
	最大	58	59	57	55	59	54	63	55	65	57	57	57
	測定日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31
③岬町 多奈川小島	パワー平均	59	59	58	56	56	56	60	60	59	58	61	60
	最小	<50	<50	<50	<50	<50	<50	53	<50	<50	<50	57	<50
	最大	62	62	61	60	58	61	62	63	63	63	63	64
	測定日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31
⑧貝塚市 二色3丁目	パワー平均	53	54	52	<50	50	<50	54	52	51	50	54	54
	最小	<50	<50	<50	-	-	-	<50	<50	-	-	<50	-
	最大	56	62	59	54	56	54	64	59	60	57	57	58
	測定日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31

(注) 表中の「-」は、暗騒音より10dB以上のピークレベルが検出できなかったことを示す。

表2-3-4(2) 航空機騒音の測定結果（定期測定）

測定地点	W E C P N L					
	平成22年					
	6月			12月		
	平均	最小	最大	平均	最小	最大
④堺市 南区庭代台	<50	-	<50	<50	-	<50
⑤高石市 高砂2丁目	<50	-	<50	-	-	-
⑥忠岡町 新浜3丁目	<50	-	52	<50	-	51
⑦岸和田市 臨海町	<50	<50	50	<50	-	<50
⑨田尻町 りんくうポート南	<50	-	<50	51	<50	57
⑩泉南市 りんくう南浜	<50	<50	50	55	<50	58
⑪阪南市 箱作	<50	<50	51	53	-	57
⑫和泉市 和田町	-	-	-	<50	-	<50
⑬熊取町 希望が丘	<50	-	<50	<50	-	<50

(注) 1. 測定日数は7日間である。

2. 表中の「-」は、暗騒音より10dB以上のピークレベルが検出できなかったことを示す。

表2-3-4(3) 航空機騒音の経年変化（常時測定）

測定地点	項目 年度	W E C P N L (パワー平均)																
		H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
①泉大津市 汐見町		56	53	54	54	53	54	54	53	52	52	54	54	53	51	50	<50	<50
②泉佐野市 りんくう往来南		50	50	53	51	51	50	51	52	52	52	52	50	52	50	53	52	52
③岬町 多奈川小島		62	62	62	62	63	63	63	62	62	61	62	61	61	60	58	59	59
⑧貝塚市 二色3丁目						55	54	54	53	54	54	54	54	53	54	53	52	52

(注) ⑧貝塚市二色3丁目は平成10年12月3日から常時測定。

表2-3-4(4) 航空機騒音の経年変化（定期測定）

測定地点	項目 年度	W E C P N L (パワー平均)																備考	
		H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21		H22
④堺市	築港新町	<50	<50	<50	<50	—													平成10年12月から測定地点を変更
	南区庭代台					<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	
⑤高石市	高砂3丁目	<50	<50	51	51	<50													平成10年12月から測定地点を変更
	高砂2丁目					<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	
⑥忠岡町	新浜3丁目	55	53	57	55	55	53	52	53	52	51	53	54	52	50	<50	<50	<50	
⑦岸和田市	地藏浜町	55	55	54	57	59													平成10年12月から測定地点を変更
	臨海町					57	54	55	54	55	53	53	52	<50	<50	<50	<50	<50	
⑧貝塚市	二色3丁目	55	57	53	56	54													
⑨田尻町	りんくうポート南	57	54	52	55	54	54	56	53	54	55	55	52	55	53	50	<50	<50	
⑩泉南市	りんくう南浜	56	53	54	59	58	58	59	57	58	57	56	51	58	57	53	51	53	
⑪阪南市	箱作	53	52	52	56	55	54	56	52	53	54	54	<50	55	53	53	<50	51	
⑫和泉市	府中町	—	—	<50	<50	<50													平成10年12月から測定地点を変更
	和田町					—	<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	
⑬熊取町	野田	—																	平成7年6月まで
	大久保		<50	<50	<50	<50													平成7年12月～平成10年6月まで
	希望が丘					<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	—	<50	<50	<50	<50	平成10年9月から

- (注)1. 表中の「—」は、暗騒音より10dB以上のピークレベルが検出できなかったことを示す。  
 2. 測定地点⑧は平成10年9月まで実施。  
 3. 測定地点④、⑤、⑫及び⑬の測定回数は平成14年度までと平成20年度は年4回、平成15年度から17年度は年2回、平成18年度は年1回、平成19年度と平成21年度は年3回、平成22年度は2回実施。  
 4. 測定地点⑥、⑦、⑨、⑩及び⑪の測定回数は平成16年度までと平成19年度、平成20年度は年4回、平成17年度と平成18年度は年2回、平成21年度は年3回、平成22年度は2回実施。

表2-3-5(1) 植物プランクトンの調査結果（内部水面）

項目	季節	春 季		
	調査日	平成22年5月16日		
	調査点数	2		
区分	最小値	～	最大値	平均値
種類数 [32]	14 ～ 24			32
細胞数 (Cells/L)	126600 ～ 2828640			978490
沈殿量 (mL/L)	0.04 ～ 0.16			0.09
主要種 細胞数 (%)	スケトネマ コスタム	577760 (59.1)		
	レプトキリントルス ダニクス	219440 (22.4)		

注1) 種類数の平均は総種類数を示す。また、[ ]内の数値は年間を通しての総種類数を示す。

注2) 主要種は各季での細胞数の上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。

表2-3-5(2) 動物プランクトンの調査結果（内部水面）

季節		春季
調査日		平成22年5月16日
調査点数		2
種類数 [26]	最小値	21
	最大値	21
	平均値	26
個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	最小値	8980
	最大値	9050
	平均値	9015
沈殿量 (mL/L)	最小値	0.004
	最大値	0.006
	平均値	0.005
主要種 個体数(%)	橈脚亜綱のナブルウス期幼生	2650 (29.3)
	オトケ属のコペポダイト期幼生	1260 (13.9)

注1) 種類数の平均は総種類数を示す。

注2) 主要種は各調査点での上位5種のうち、組成率が10%以上のものを示す。

表2-3-5(3-1) 底生生物の調査結果（空港島周辺海域）

項目		調査月	5月	
		調査日	平成22年5月16日	
		調査点数	4	
		区分	最小値～最大値	平均値
種類数	軟体動物門	[16]	3～14	16
	環形動物門	[29]	5～19	29
	節足動物門	[15]	0～13	15
	その他	[11]	2～8	11
	合計	[71]	12～54	71
個体数	軟体動物門		33～111	55
	環形動物門		10～92	51
	節足動物門		0～27	9
	その他		9～113	37
	合計		63～258	152
個組成比 (%)	軟体動物門		12.8～82.2	36.2
	環形動物門		11.1～61.3	33.3
	節足動物門		0.0～10.5	5.9
	その他		6.7～43.8	24.6
	合計			
湿重量 (g)	軟体動物門		0.49～4.12	1.71
	環形動物門		0.17～2.29	0.97
	節足動物門		0.00～1.66	0.50
	その他		6.19～37.39	17.23
	合計		8.13～40.77	20.41
主要種 個体数 (%)			シズクガイ 45 (29.6) 星口動物門の一種 18 (11.8)	

注1) 個体数、湿重量は0.15m<sup>2</sup>当たりで示す。湿重量の+は0.01g未満を示す。

注2) 種類数の平均は総種類数を示す。

注3) 主要種は各調査点での個体数の上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。

表2-3-5(3-2) 底生生物の調査結果（内部水面）

項目		5月		8月		2月	
		調査日	調査点数	調査日	調査点数	調査日	調査点数
区分		最小値～最大値	平均値	最小値～最大値	平均値	最小値～最大値	平均値
種類数	軟体動物門 [18]	4～7	10	3～6	8	0～9	10
	環形動物門 [38]	9～20	25	4～17	21	4～19	23
	節足動物門 [8]	0～2	2	0～4	4	0～4	4
	その他 [10]	3～6	8	2～4	6	0～5	5
	合計 [74]	21～31	45	11～26	39	5～37	42
個体数	軟体動物門	31～84	51	10～28	16	0～11	4
	環形動物門	37～146	98	25～85	58	12～77	34
	節足動物門	0～5	3	0～10	4	0～7	2
	その他	6～10	8	3～6	5	0～27	9
	合計	87～202	160	59～100	83	12～122	49
個組体成数比(%)	軟体動物門	16.1～43.8	31.8	10.0～47.5	19.3	0.0～9	8.2
	環形動物門	42.5～76.1	61.3	42.4～85.0	69.9	63.1～100	69.4
	節足動物門	0.0～3.4	1.7	0.0～11.0	4.8	0.0～5.7	4.1
	その他	3.0～10.3	5.2	5.0～6.6	6.0	0.0～22.1	18.4
湿重量(g)	軟体動物門	0.53～2.29	1.43	0.19～2.40	1.00	0.00～1.51	0.55
	環形動物門	1.33～3.78	2.94	1.45～3.31	2.31	0.09～1.04	0.50
	節足動物門	0.00～0.01	0.01	0.00～0.01	0.00	0.00～0.06	0.02
	その他	1.06～11.01	6.03	1.73～10.34	5.85	0.00～6.8	2.27
	合計	6.25～15.33	10.41	5.44～14.19	9.16	0.09～8.03	3.34
主要種 個体数 (%)		カタマカ <sup>レ</sup> リキ <sup>ホ</sup> シイソメ 54(33.8) シズ <sup>ク</sup> カ <sup>イ</sup> 41(25.6)		カタマカ <sup>レ</sup> リキ <sup>ホ</sup> シイソメ 30(36.1) タケフシコ <sup>ク</sup> カイ科の一種 14(16.9) シズ <sup>ク</sup> カ <sup>イ</sup> 12(14.5)		カタマカ <sup>レ</sup> リキ <sup>ホ</sup> シイソメ 11(22.4) 星口動物門の一種 6(12.2)	

注1) 個体数、湿重量は0.15m<sup>2</sup>当たりです。湿重量の+は0.01g未満を示す。  
 注2) 種類数の平均は総種類数を示す。  
 注3) 主要種は各調査点での個体数の上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。



表2-3-5(4-1) 底生生物の経年出現種類数（空港島周辺海域）

年 度	6 1	6 2	6 3	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10
春(5月)		30	27	19	14	23	25	20	23	43	21	28	45
夏(8月)		18	25	18	11	18	17	20	25	22	18	38	29
秋(11月)		13	21	23	11	16	17	18	24	22	20	27	24
冬(2月)	23	21	21	21	14	19	19	18	24	23	28	41	38

年 度	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
春(5月)	68	66	63	49	73	78	67	27	69	84	77	71
夏(8月)	60	43	53	42	59	79	49	42	40	66	66	—
秋(11月)	67	35	41	40	69	62	54	27	37	44	42	—
冬(2月)	53	38	50	54	84	66	73	69	36	63	47	—

- (注) 1. 平成10年度までは5地点、平成16年度までは7地点、平成17年度より4地点で調査。  
2. 平成22年度は年1回調査。

表2-3-5(4-2) 底生生物の経年出現種類数（内部水面）

年 度	18	19	20	21	22
春(5月)	29	47	45	51	45
夏(8月)	37	38	35	34	39
秋(11月)	39	32	47	32	—
冬(2月)	47	46	51	32	42

- (注) 1. 平成18年度より3地点で調査。  
2. 平成22年度は年3回調査。

表2-3-5(5) 底生生物個体数の地点別経年変化（春季：5月）

調査月：春季 5月

	No. 1												No. 2											
	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
種類数 計	14	15	18	10	10	12	14	6	16	22	14	15	21	16	12	15	15	11	11	7	19	23	16	12
個体数 計	37	123	758	25	54	43	721	20	321	135	33	135	220	143	96	39	58	93	383	25	198	108	30	63
主 要 種	Euchone spp.																5							
	Glycinde属の一種																							
	Gyptis属の一種								3															
	Paraprionospio sp. Type A				512					186														
	Paraprionospio sp. Type B					11					7							9						
	Poecilochaetus sp.	5																9						
	Terebellides属の一種																							
	エーレルシスピオ															4								
	オウギゴカイ								2															
	オカメブンブク	6			10																			7
	オトヒメゴカイ科の一種																						3	
	カキクモヒトデ																							
	カタマガリギボシソメ				4						31													
	シズクガイ	12	92	172		21	25	696	12	73	65	11	109	179	102	70	8	32	80	352	16	166	76	40
	スナクモヒトデ科の一種																							
	ダルマガカイ																			3				
	チマキゴカイ科の一種																							
	チヨノハナガイ																							
	ドロヨコエビ																							
	ニカイチロリ科の一種																							
ニセタマガシフサゴカイ																								
ヒメカノコアサリ																							8	
ブンブクヤドリガイ科の一種																								
ユンボソコエビ科の一種																								
ヨコヤマキセワタガイ					9																			
星口動物門の一種																								

	No. 3												No. 4											
	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
種類数 計	13	21	13	19	36	34	48	12	44	53	60	54	14	12	28	18	16	24	26	20	28	33	36	26
個体数 計	40	420	104	48	109	91	230	91	150	194	656	258	144	63	298	68	45	78	461	56	162	400	130	150
主 要 種	Euchone spp.				7												74							
	Glycinde属の一種								15															
	Gyptis属の一種																							
	Paraprionospio sp. Type A																							
	Paraprionospio sp. Type B																					20		
	Poecilochaetus sp.																							
	Terebellides属の一種																							28
	エーレルシスピオ																							
	オウギゴカイ																							
	オカメブンブク	5											19	29										
	オトヒメゴカイ科の一種																							
	カキクモヒトデ											205												
	カタマガリギボシソメ								18		105					26					19			58
	シズクガイ	19	311	72	11			46	56				101		112		8	30	300		69	245		29
	スナクモヒトデ科の一種						13																	
	ダルマガカイ								14									19						
	チマキゴカイ科の一種						12					29												
	チヨノハナガイ																			80				
	ドロヨコエビ																					6		
	ニカイチロリ科の一種															8								
ニセタマガシフサゴカイ									21															
ヒメカノコアサリ																								
ブンブクヤドリガイ科の一種																								
ユンボソコエビ科の一種					20																			
ヨコヤマキセワタガイ				8													5							
星口動物門の一種										43	100	72												

(注) 主要種は各調査点での個体数の上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。

表2-3-5(6) 漁業生物の調査結果

項目		調査月	5月	
		調査日	平成22年5月12日	
		調査点数	4	
		区分	最小値～最大値	平均値
種類数	魚 類 [9]	1～5	9	
	甲殻類(エビ・カニ類) [3]	0～2	3	
	頭足類(イカ・タコ類) [1]	0～1	1	
	そ の 他 [0]	0～0	0	
	合 計 [13]	4～6	13	
個体数	魚 類	4～5	5	
	甲殻類(エビ・カニ類)	0～2	1	
	頭足類(イカ・タコ類)	0～1	0	
	そ の 他	0～0	0	
	合 計	5～7	6	
湿重量 (g)	魚 類	407.0～1516.3	741.0	
	甲殻類(エビ・カニ類)	0.0～18.6	6.0	
	頭足類(イカ・タコ類)	0.0～24.6	6.2	
	そ の 他	0.0～0.0	0.0	
	合 計	407.0～1516.3	753.2	
主要種 個体数(%)		マコガレイ 2 (33.3)		
		メイガレイ 1 (16.7)		

注1) 個体数、湿重量は1網当りで示す。

注2) 種類数の平均は総種類数を示す。また、[ ]内の数値は年間を通しての総種類数を示す。

注3) 主要種は各測定点での個体数の上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。

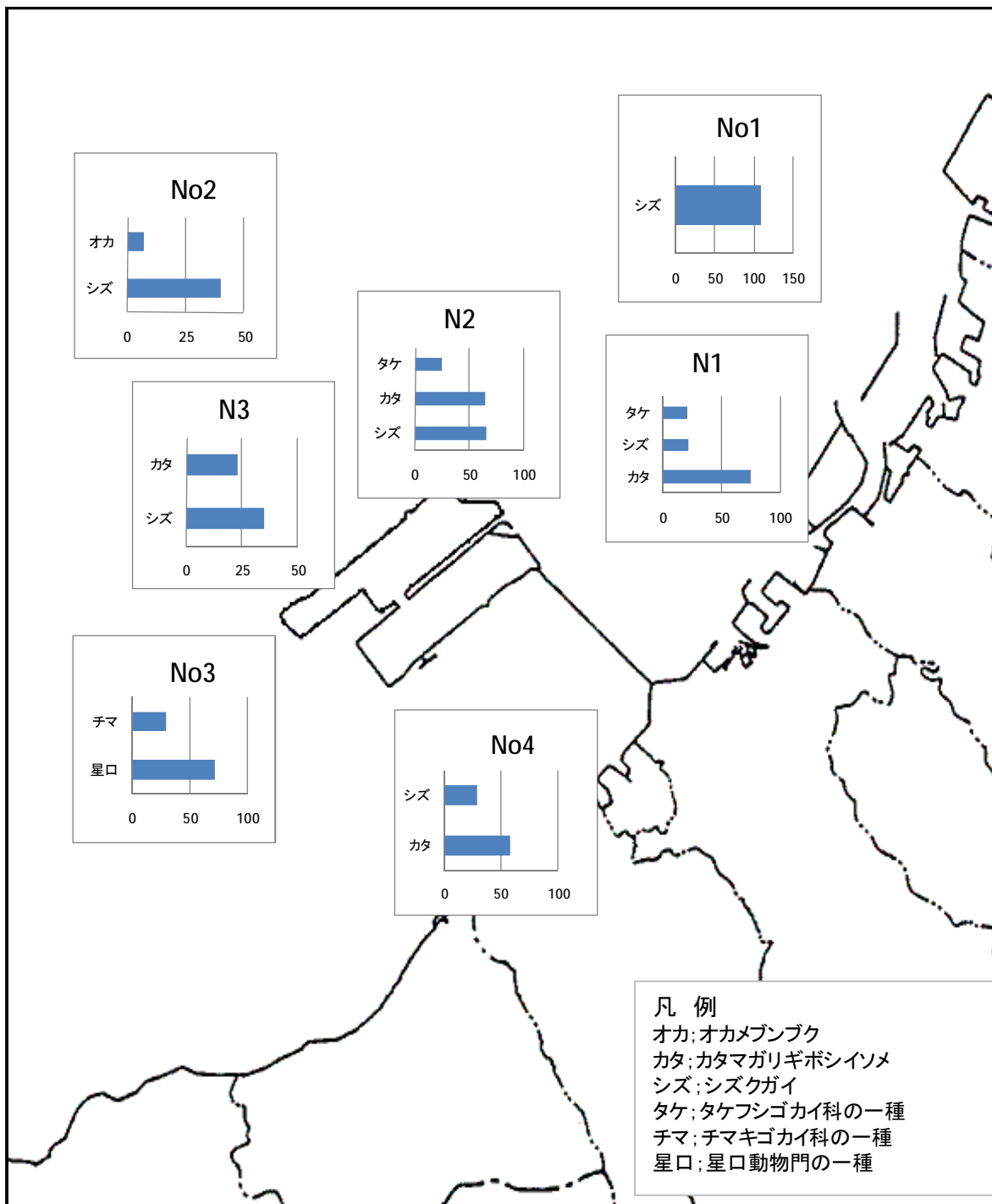


図2-3-5(1-1) 底生生物の地点別出現個体数(春季：5月)

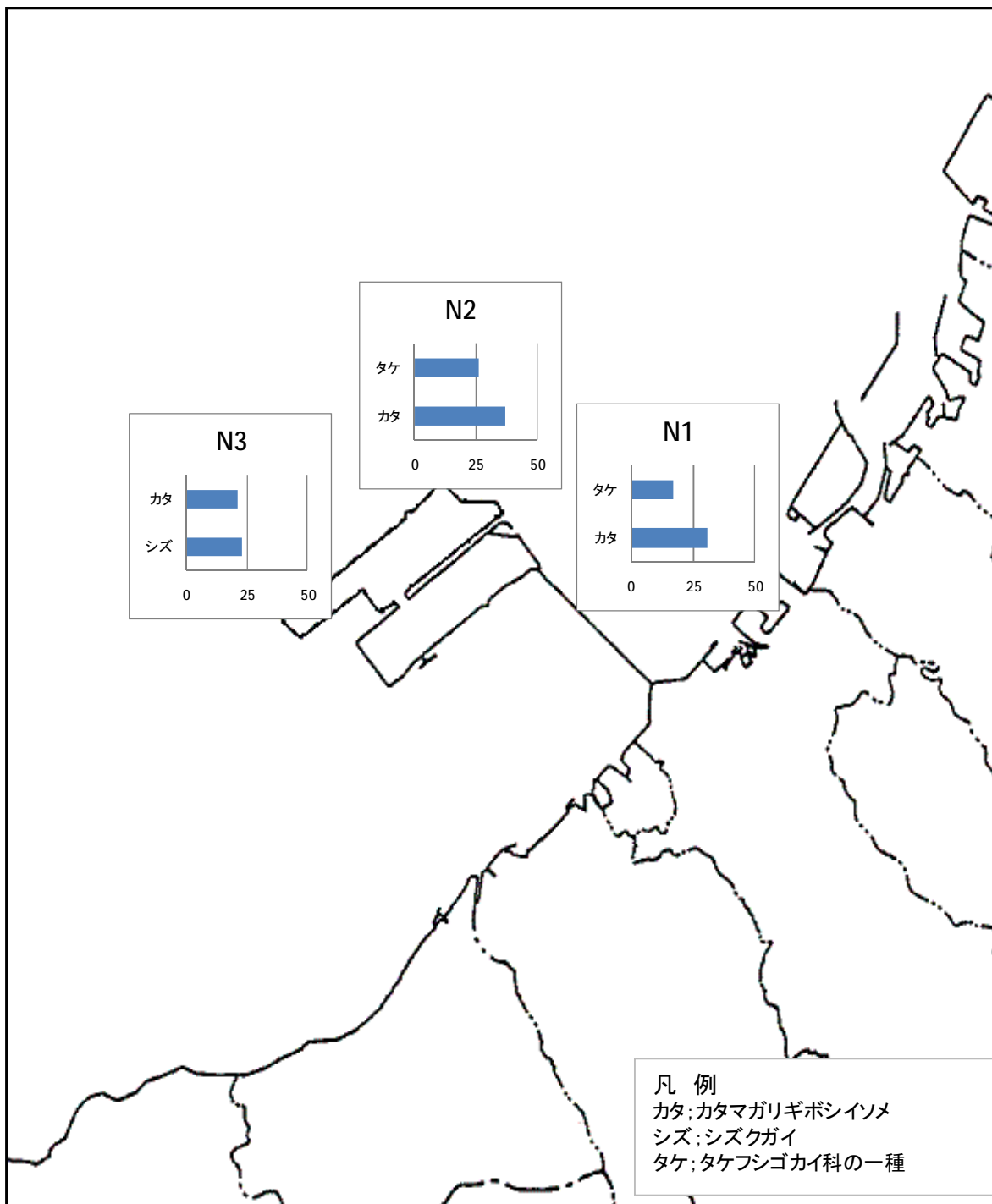


図2-3-5(1-2) 底生生物の地点別出現個体数(夏季:8月)

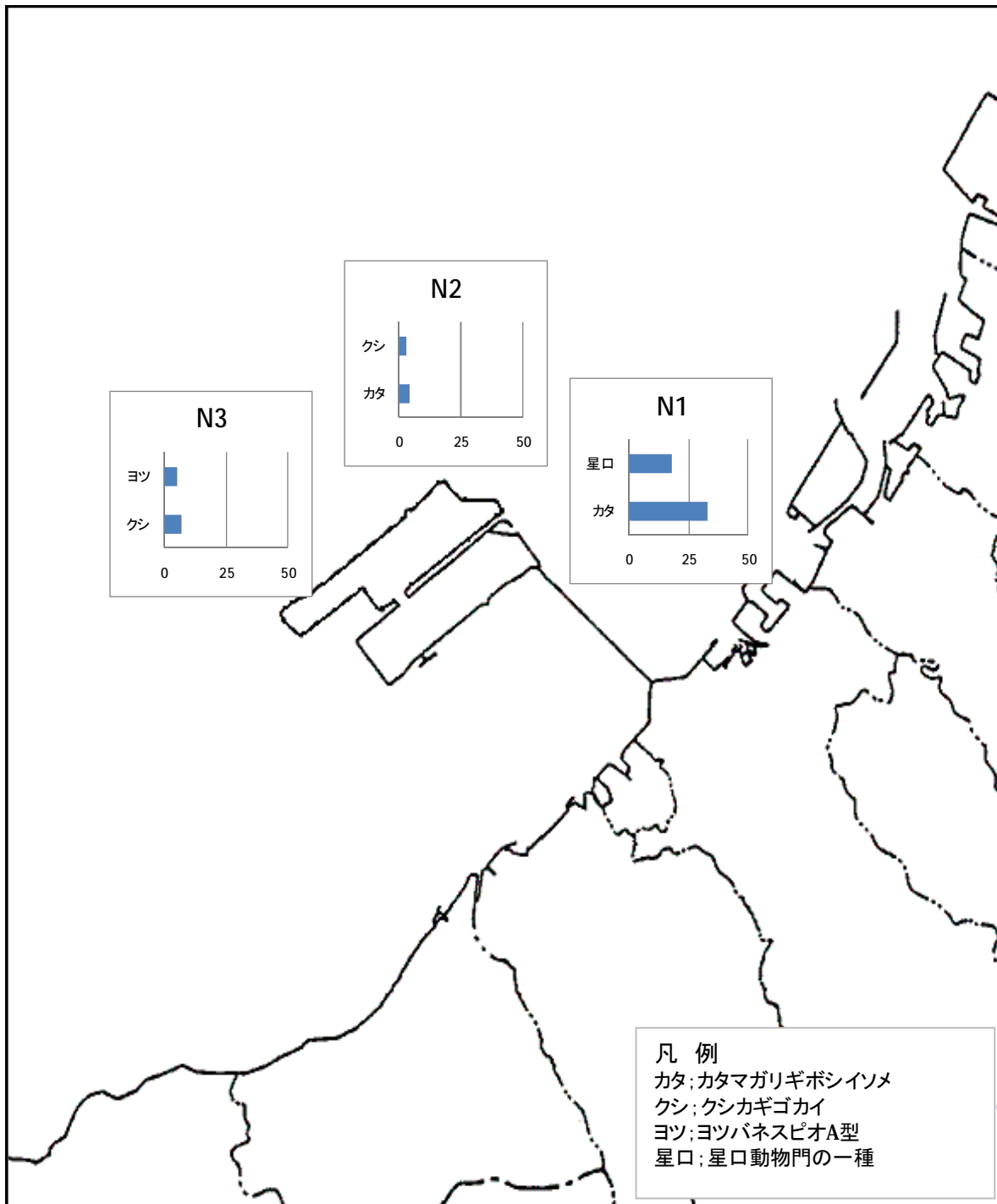


図2-3-5(1-4) 底生生物の地点別出現個体数(冬季：2月)